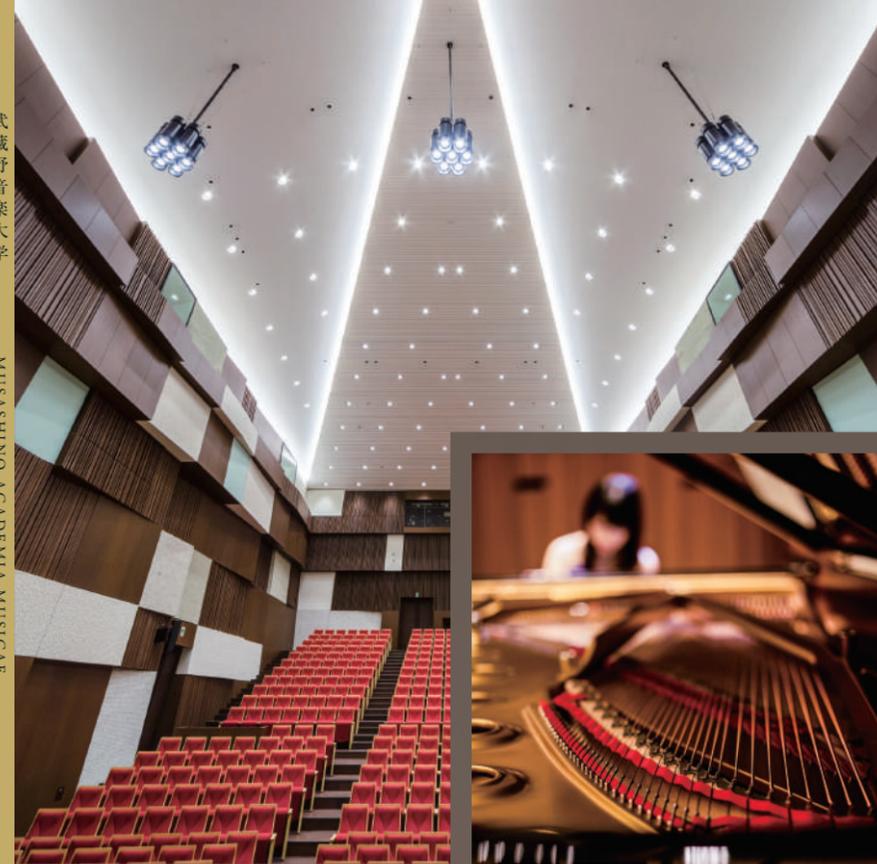


武蔵野音楽大学

CAMPUS
GUIDE
2023



武蔵野音楽大学

MUSASHINO ACADEMIA MUSICAЕ

CAMPUS GUIDE 2023

MUSASHINO ACADEMIA MUSICAЕ



武蔵野音楽大学



武蔵野音楽大学ウェブサイト

<https://www.musashino-music.ac.jp/>

学校法人 武蔵野音楽学園 2022年4月26日発行 ©MUSASHINO ACADEMIA MUSICAЕ 禁無断複写転載

学長メッセージ Message

建学の精神「〈和〉のこころ」と 一人ひとりの「個」を大切に

これからの時代、音楽を愛する皆さんは、たとえどのような道を目指そうとも、各々の専門性を高めることはもちろんですが、単なる知識の習得だけではなく、問題の本質を見極める「洞察力」、解決策を発見する「創造力」、他者と意思疎通を図る「コミュニケーション能力」を高める必要があります。AI などでは代替できないこれらの能力によって、答えのない問題や未知の課題に遭遇した際、広い視野を持ってそれらに対峙していけるからです。

本学は、創立者の音楽教育にける強い気持ちに共鳴した多くの人々の情熱の発露が学校設立へと結びついたことから、建学の精神を「〈和〉のこころ」としています。そして、この精神は「個々人の自立」と表裏一体となって捉えられるべきであると考えています。他者を尊重し、協調しながらも、自立して問題提起や解決ができる音楽人を育成するために、我々教職員はきめ細かく丁寧な指導に努めています。

2017年には、通常の大学キャンパスの枠を超えた「音楽の街」とも呼べる、画期的な都市型キャンパスが誕生しました。重厚感と現代性が調和し、優れた機能性とスタイリッシュなデザインを併せ持つキャンパス内には、理想的な演奏・学修環境が実現しており、自身の可能性を無限に拡げることができます。さらに、皆さんが在学中、学修目標を達成し大きく成長するための、さまざまな出会いや経験の場、また、学生支援の環境も整っています。

人命はもちろん、経済活動や社会生活へ深刻な犠牲を地球規模でもたらしている新型コロナウイルス感染症拡大という事態に直面し、我々は未来の正確な予測が困難な時代を生き抜いていかなければならなくなりました。しかし、いかに人々の生活環境が変わろうとも、音楽芸術に心を癒され、これに明日を生きる活力を見いだすという、人間が生来持つ本性は普遍であると、私は信じています。武蔵野の学生諸君には、本学の教育方針「音楽芸術の研鑽」「人間形成」によって大作曲家の作品の真理に少しでも近づき、在学中に培った多層的な知性としなやかな感性、そして豊かな人間性を活かして、それぞれの新たな舞台へ大きく羽ばたき輝き続けて欲しいと、切に願っています。

伝統と近代性が交差するキャンパスから、意欲あふれる皆さんを、心から歓迎いたします。

武蔵野音楽大学 学長・教授（ピアノ） 福井 直昭



1970年東京生まれ。慶應義塾大学経済学部卒業、武蔵野音楽大学大学院修士課程修了、ミュンヘン国立音楽大学留学。クワイター賞、ブルガリア国際コンクール「Music and Earth」全部門グランプリ大賞（審査員全一致、史上最高得点）、ハンガリー・ジュール市記念メダル等受賞。ソリストとして「ブダペストの春」国際音楽祭に招聘されヨーロッパデビューを飾り、その後も「ハンガリー・ヴィルトゥオーゾ室内管弦楽団東京公演」、「ブルガリア国立放送交響楽団創立50周年記念公演（世界42ヶ国に衛星生放送）」、「ソフィア・フィルハーモニー管弦楽団定期公演」、「ピアノ新人会第100回記念公演（東京交響楽団）」、「ニュルンベルク交響楽団東京公演」、日本・ハンガリー国交回復50周年記念「リスト音楽院管弦楽団東京公演」等で、内外20もの著名なオーケストラや指揮者と協演。またピアニスト ケマル・ゲキチとのデュオでも常に高い評価を得ているほか、録音、メディア出演、執筆等幅広く活躍している。武蔵野音楽大学学長、ヴィルトゥオーゾコース長。

武蔵野音楽大学は

音楽芸術の研鑽と 人間形成を めざして 歴史を刻んできました

Contents

学長メッセージ	01	客員・特別招聘教授メッセージ	47
建学の精神と教育方針	03	教育職員一覧	49
NEWS & TOPICS	04	大学院・別科	51
沿革	06	【特集】音と過ごす学生生活	
施設紹介	07	年間行事	57
音楽学部	16	CAMPUS LIFE 武蔵野音大生の生活に密着	59
武蔵野音楽大学の学び	17	私が武蔵野音楽大学を選んだ理由	63
演奏学科	19	進路状況	64
ヴィルトゥオーゾコース	21	夢に向かってはばたく卒業生	65
器楽コース（有鍵楽器専修）	23	進路サポート	67
器楽コース（管楽器専修）	25	卒業生の活躍・主なコンクールの入賞者	69
器楽コース（打楽器専修）	27	キャンパストピックス	71
器楽コース（弦楽器専修）	29	学費・奨学金等	75
声楽コース	31	免許・資格	77
音楽総合学科	33	学生サポート	78
作曲コース	35	入学者選抜ガイド	79
音楽学コース	37	2022年度 講習会・イベント情報	81
音楽教育コース	39		
アートマネジメントコース	41		
講師陣からのメッセージ	43		

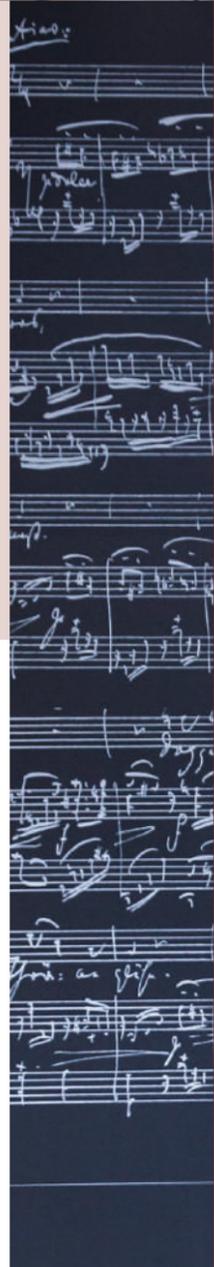


建学の精神と教育方針

武蔵野音楽大学は、
建学の精神を
「〈和〉のこころ」と定め、
教育方針として
「音楽芸術の研鑽」と
「人間形成」を掲げています。

わが国で、音楽教育の基盤がまだ弱体であった昭和4（1929）年、その普及と向上に強い情熱をもって取り組んだ創立者 福井直秋と、その教育理念に共鳴する多くの協力者、教職員、生徒たちの強い「和」によって本学は創設されました。また、深遠な音楽美の追究と豊かな人格の形成は、相高めあうものであるという創立者の信念から、本学は、「音楽芸術の研鑽」と「人間形成」を創立以来の一貫した教育方針としています。

さらに、この「建学の精神」と「教育方針」に従い、「礼儀（Propriety）」、「清潔（Purity）」、「時間厳守（Punctuality）」の3つに基づく生活の規範を「3P主義」と呼び、平素の生活において、学生のみならず教職員にも実践することを求めています。



NEWS & TOPICS

楽器ミュージアムが2022年4月に一般公開されました！

日本最大の所蔵数5,700点以上を誇る武蔵野音楽大学楽器博物館が「楽器ミュージアム」と名称を変えリニューアルオープンいたしました。資料は「鍵盤楽器」「管弦打楽器」「日本の楽器」「世界の民族楽器」の4つの独立した展示室に分かれ、それぞれ異なったデザインで演出され、見学者は古今東西の楽器を見ることができます。

武蔵野音楽大学は、楽器ミュージアムを通して、これらの資料を学内の教育研究に役立てるとともに、一般に公開し、音楽文化の普及に寄与していきます。なお、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、一般の方は、完全予約制となりますのでご了承ください。詳細はウェブサイトをご覧ください。



武蔵野音楽大学女子学生レジデンス(仮称) 2023年末竣工予定！

武蔵野入学を機に実家を離れる際の選択肢として、寮か一人暮らしかではなく、その間を取るというのが、今の時代にはフィットするのかもしれない。本寮は個室方式によりプライベート空間をしっかりと確保しながらも、一人暮らしでは得られない広い共用スペースを完備しており、朝夕の食事付き（銀座スエヒロ提供）。新生活をサポートする体制・設備はもちろん、交流を促すさまざまな仕掛けが施されています。また、大学キャンパス内の練習室を利用することももちろん可能ですが、寮内にも冷暖房を完備した快適な練習室を用意しました。

キャンパスへのアクセスは、徒歩3分以内と抜群。学生寮に対し一般的に持つイメージを覆す高級感とスタイリッシュさで、あたかもマンションのような建物になります。セキュリティについては、エントランスにオートロックシステムを採用し、非接触ICタグ付キーをかざすだけで自動ドアを解除できます。また、管理人付きで、建物周りには防犯カメラを設置し、安心感が高まります。

多くの寮や学生マンションはバスやトイレが共同なのに対し、本寮は各居室にバス・トイレ別で設置されています。室内にはエアコン・ベッド・照明・机・椅子・冷蔵庫が標準装備されており、入寮後すぐに快適な寮生活を送れます。また洗濯機も各室に設置しており、衛生面やプライバシーを気にする必要がありません。もちろんインターネットも利用できます。

また、不在時でも宅配の受け取りができる宅配ボックスを設置し、24時間受取が可能となります。エントランスの集合玄関機に着荷表示を行い、帰宅時に荷物到着の有無が確認できるほか、住戸内のインターホンにも着荷表示を行います。

食堂・ラウンジは中庭に向けて大きな開口を設けた開放感のある明るい空間となっており、食事の時間以外にも、勉強やミーティングなどを行う場として利用できます。また、快適なネット環境を有し、多くの寮生が集まってコミュニケーションを育む場ともなっています。食堂の外に広がる中庭は、開放的なオープンテラスとして、本を読んだり、談笑したりするスペースとなります。

音楽は時間というプラットフォームの上で、さまざまな音の組み合わせや抑揚によりシーンの変化を引き起こし興行きを生み出しています。音楽から生み出されるさまざまなシーンを空間に落とし込むことで音楽の美しさを具現化し「音楽と空間を行き来する」——これが本寮の設計コンセプトです。



HISTORY

わが国初の音楽大学として

未来へと 奏でる力



MUSASHINO ACADEMIA MUSICAE
武蔵野音楽大学 沿革

- 1929 東京府豊多摩郡代々幡町幡ヶ谷に仮校舎を借りて武蔵野音楽学校創立事務所を設け授業開始
武蔵野音楽学校設置認可
江古田キャンパス校舎落成  江古田キャンパス校舎落成(1929)
- 1942 教員無試験検定取扱いの許可学校として指定される
- 1949 武蔵野音楽大学(音楽学部)器楽学科、声楽学科および作曲学科設置認可 福井直秋、学長に就任
- 1951 財団法人武蔵野音楽学校から学校法人武蔵野音楽学園へ組織変更 福井直秋、理事長に就任 
- 1960 コンサートホール「ベートーヴェンホール」落成(江古田キャンパス)  江古田キャンパス 2・3号館落成(1957)
- 1962 福井直弘、学長に就任
- 1964 大学院音楽研究科修士課程に器楽専攻、声楽専攻および作曲専攻設置認可
- 1967 武蔵野音楽大学楽器博物館開設
- 1973 武蔵野高等学校(全日制課程音楽科)設置認可
(2005年武蔵野音楽大学附属高等学校に校名変更)  ベートーヴェンホール 落成(1960)
- 1979 コンサートホール「バッハザール」落成(入間キャンパス)  バッハザール落成(1979)
- 1981 福井直俊、理事長に就任
福井直敬、学長に就任
- 1993 武蔵野音楽大学バルナソス多摩開設
コンサートホール「シューベルトホール」落成  バルナソス多摩開設(1993)
- 1998 福井直敬、理事長に就任
- 2003 大学院音楽研究科博士後期課程設置認可
- 2006 音楽学部 to ヴィルトゥオーソ学科設置  ヴィルトゥオーソ学科設置
- 2007 音楽学部 to 音楽環境運営学科設置 学芸員課程設置
- 2010 大学院音楽研究科修士課程にヴィルトゥオーソコース設置
- 2017 江古田新キャンパス竣工
音楽学部 to 演奏学科、音楽総合学科設置  江古田新キャンパス竣工(2017)
- 2018 大学院音楽研究科修士課程にピアノコラポレイティヴアーツコース設置
- 2020 福井直昭、学長に就任
- 2021 武蔵野音楽大学楽器ミュージアム リニューアルオープン

諸芸術の中で人種、言語の別を越え、概念の領域を超脱して直さいに人間の本能に訴え、和親相愛の心情をたかめ、崇高純美の気迫を培い得る力を最も大きく内包するものは音楽芸術であるといえよう。

(1945年 創立者論文「再建日本と音楽」より)

創立者

初代理事長・学長 福井直秋



FACILITY

大学キャンパスの枠を超えた

刺激する 音楽の街

江古田キャンパス

伝統と先進が響き合う未来へ

本学では2017年度よりさらなる教育・研究環境の向上を目指し、国内初の本格的コンサートホール「ベートーヴェンホール」以外のすべての校舎を建て替えた江古田キャンパスに、大学の教育・研究活動の場を統合しました。建学の精神である「(和)のこころ」を具象化し、「音楽芸術の研鑽」「人間形成」の場としての魅力にあふれた、最新のキャンパスです。

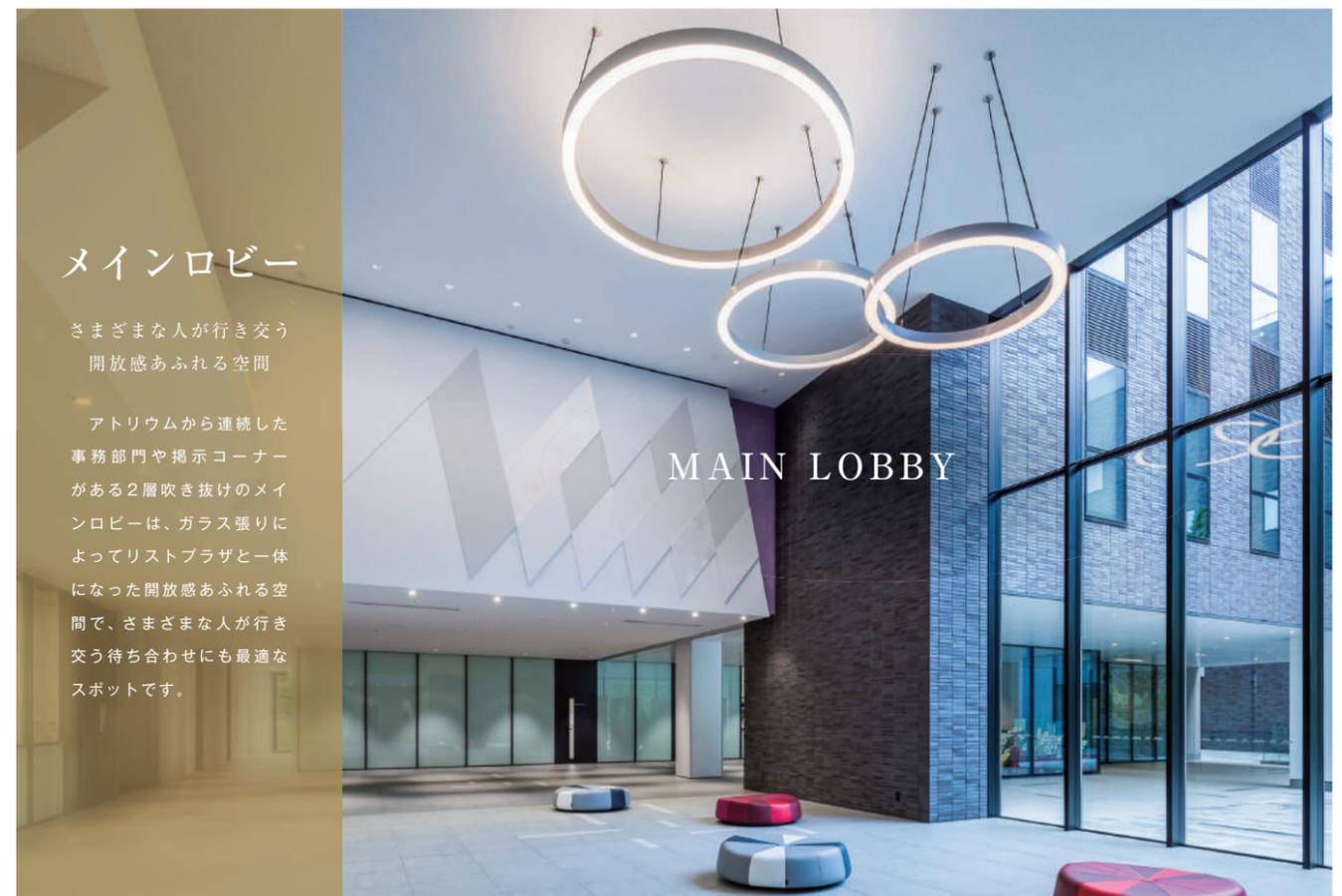


LISZT PLAZA

リストプラザ

多彩な交流を促進する
「キャンパスのコア」

キャンパス中央、地下1階に掘り下げたリストプラザは、キャンパスレストランや図書館、楽器ミュージアムなどに囲まれた集いの中心として、学生たちの新しい交流を生み出しています。また、楽器ミュージアムに面する西側に、ジュール・フィリップ・ハーモニー管弦楽団より寄贈されたフランツ・リスト像が設置されています。



メインロビー

さまざまな人が行き交う
開放感あふれる空間

アトリウムから連続した事務部門や掲示コーナーがある2層吹き抜けのメインロビーは、ガラス張りによってリストプラザと一体になった開放感あふれる空間で、さまざまな人が行き交う待ち合わせにも最適なスポットです。

MAIN LOBBY

3つのコンサートホール

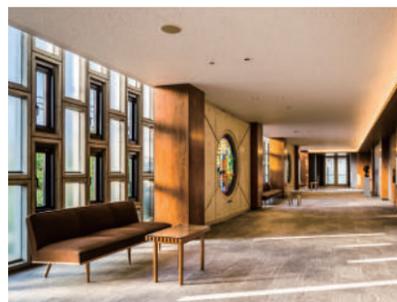


ベートーヴェンホール

音響特性を変えずに再オープンした日本初の本格的なコンサートホール

1960年に日本で初めての本格的なコンサートホールとして生まれたベートーヴェンホールは、音響効果の良いホールとして国内外から注目を集め、音楽ファンにも長年親しまれてきました。記念碑的な存在である日本初のコンサートオルガンのほか、オーケストラピットやオペラ上演のための舞台機構なども有しています。新校舎群竣工にあわせた2017年の大改修は、本学ならびに日本のコンサートホールの歴史を象徴する存在としての役割を継続し、長年慣れ親しんだ雰囲気、音響特性を可能な限り変えないことをコンセプトとしました。具体的には、建築構造の補強とホール天井の落下防止対策による耐震化、防災設備の設置等を施すことで現在の基準を満たす安全性を確保したほか、静粛性の向上、空調・衛生・照明・舞台等機器の更新、バリアフリー化（エレベーターや車椅子利用者用客席の設置）、各階ホワイエを中心とした内装リフレッシュ等を行い、より安全で使いやすい施設に生まれ変わりました。客席数は1,043席です。

一般財団法人日本建築防災協会主催2019年度耐震改修優秀建築・貢献者表彰において、日本建築防災協会理事長賞、ならびに耐震改修優秀建築賞を受賞しました。



ベートーヴェンホールホワイエ



江古田新キャンパス竣工記念特別演奏会
ケマル・ゲキチ×福井直昭 ピアノデュオリサイタル



ベートーヴェンホール外観



ブラームスホール舞台

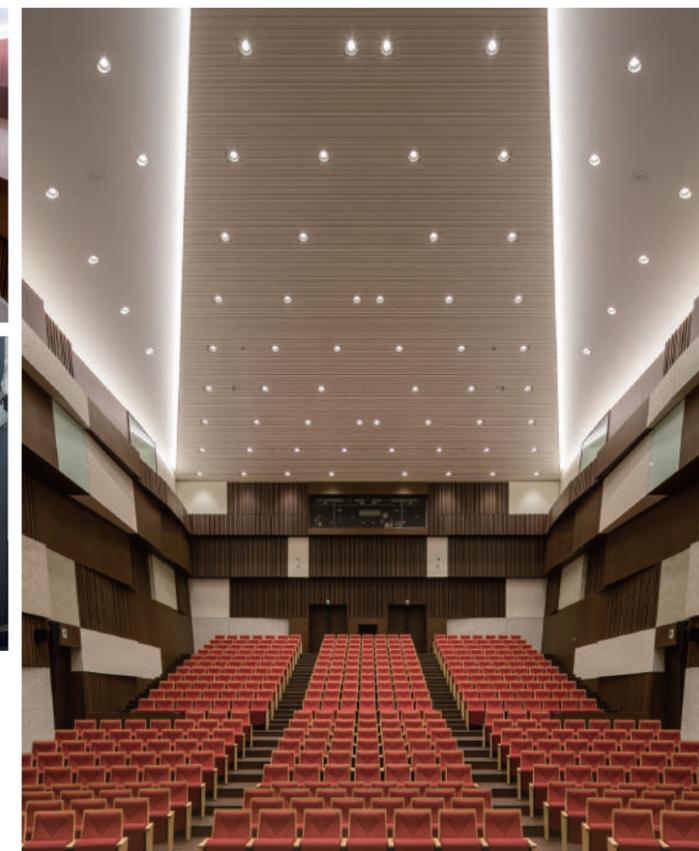


ブラームスホールホワイエ

ブラームスホール

最新の音響設計に基づいた
意欲的なデザインの中ホール

世界的な建築音響コンサルタントである永田音響設計の監修による最新の音響設計に基づいた意欲的なデザインの中ホールです。客席数は423席です。御影石や大谷石などの伝統的な材料に、異なる音響特性を持った近代的な材料を組み合わせることで新しい響きを実現し、演奏者と聴衆のドラマティックな一体感を生み出しています。ホワイエの吹き抜けに設置されたクリスタル照明は旧校舎から引き継がれたものです。



モーツァルトホール

クラシカルでありながらモダンな印象をあわせ持つ
ヨーロッパのサロン風ホール

本学3代目となる「モーツァルトホール」は、リサイタル・室内楽用の約100席のホールで、学生がお互いを触れ合う場として活動できる使い勝手の良いホールです。いかにも練習用ホール然としたものではない、通常の授業とは違うハレの場とすることで学生の意欲を最大限に引き出すことを目指し、クラシカルでありながらモダンな印象もあわせ持つヨーロッパのサロンをイメージしました。正面には2代目モーツァルトホールから移設した伝統あるパイプオルガンを据えつつ、自由な演奏形式に対応した設備を備えて学生の多様なニーズに応えます。また、2代目のロビーにあったモーツァルト像（ウィーン国立芸術大学より寄贈）をホール内に設置しています。



3つのリハーサルホール

編成・演奏の特性を考慮し

室形状が最適化された大規模練習ホール

オーケストラ、大合唱、ウィンドアンサンブル（吹奏楽）のための大規模な各専用リハーサルホールは、賑わい空間であるリストプラザから離れた3つのコンサートホールに隣接し、互いに連携した利用が可能です。各ホールは、室内音響に配慮して壁・天井の平行面を排した本格的なデザインで、それぞれの編成の特性を考慮し室形状が最適化されているほか、吸音カーテンにより本番で利用するホールに合わせた響きに調整可能です。また仕上げや色彩を変えることで、各ホールの個性が際立つよう配慮しています。



オーケストラホール



コーラスホール



ウィンドアンサンブルホール



図書館

それぞれ特徴を持つ3層構成による
快適で居心地の良い知的空間

総合受付カウンターが設置されたメインフロア（1階）、吹き抜け階段添いにある大壁面書架を経由した上階にある豊富なAV資料を中心としたサイレントフロア（2階）、そしてラーニングcommonsとグループ学修室によるオープンな雰囲気のあるアクティブフロア（B1階）の3層構成。計約30万点の所蔵音楽資料は、ICT技術を使ったシステムにより、いつでも利用することができます。

展望ラウンジ“Bis”

一大パノラマを楽しめる語らいの場

校舎最上階の展望ラウンジからは富士山や東京スカイツリーをはじめとする一大パノラマが楽しめ、学生と教職員の語らいの場となっています。また、レセプションやパーティーなどにも活用されています。



その他の施設紹介



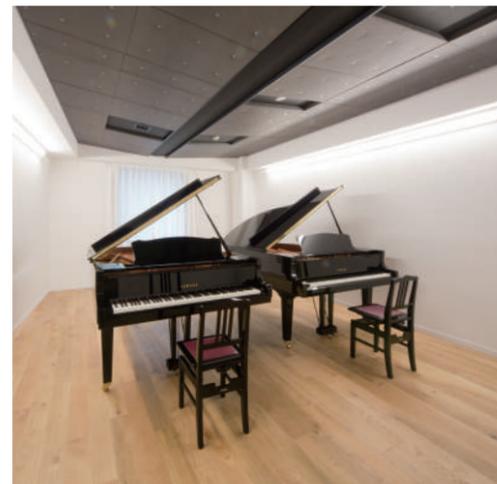
キャンパスレストラン“Intermezzo”

自然光を取り入れたレストランは、「銀座スエヒロ」が運営を手掛けるカフェテリア形式。ケリー・レモン氏のイラストが描かれた店内からは、四季の変化やキャンパスの賑わいを感じられます。



楽器ミュージアム

日本最大の楽器コレクションが再び江古田に集結し、「楽器ミュージアム」と名称を変えリニューアルオープンしました。大学と社会をつなぐ窓口として一般にも公開しています。世界各地の楽器が4つの展示室に分けられ、美しく分りやすく展示されています。



レッスン室

レッスン室は教員と学生の1対1の真剣な教育、対話の場です。対話やリフレッシュのためのラウンジが随所に設けられ、さまざまな印象の共用空間としてデザインされています。



練習室

全118室あり、さまざまな規模・形態・特性に応じた最適な音響環境を完備しています。



録音スタジオ

五重奏程度の編成までの録音が可能な録音スタジオは、プロユースにも耐えられ、さまざまな機材は、操作に関する授業等に使用されます。



ヴェルディロビー

ヴェルディ像があるロビー周辺には、ヤマハ銀座店 武蔵野音大ショップ、コピーコーナー、学生用掲示板が設置され、学生にとってキャンパスのリビングのような空間です。



ヤマハ銀座店 武蔵野音大ショップ

楽譜を中心とした音楽ソフト商材に加え、楽器付属関連商品も充実させています。また学生が日常で必要とする一般雑貨商品も提供しています。

人間キャンパス・パルナソス多摩

バッハザール

自然の緑に映える
レンガの美しい建築

人間キャンパスの緑に映える美しいレンガの建築美と、柔らかな音色と響きを生み出す綿密な音響設計が施された客席数1,202席のホールです。120人のオーケストラと200人の大合唱の同時演奏が可能であり、オルガンはドイツのクライス社製67ストップ、同社の1981年最大の作品です。



シューベルトホール

緑豊かな多摩ニュータウンに位置する
教育研究施設

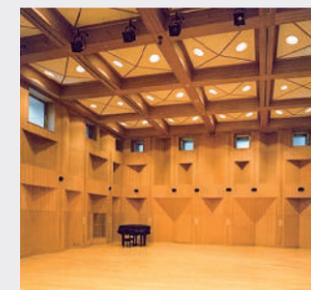
文化的な都市環境の多摩ニュータウン（東京都多摩市）に、教育研究施設「武蔵野音楽大学「パルナソス多摩」」を設置しています。ここにあるシューベルトホールは、収容定員274名（車椅子席含む）で、定員に比して大きなステージが備えられていて、その1.3秒の残響効果は、室内楽や室内合唱、ソロの演奏に最適です。



PICK UP | 軽井沢高原研修センター

大自然に囲まれた研修センターで、
音楽をはぐくみ、緑とふれあうひとときを

夏の避暑地として最も有名な長野県北佐久郡軽井沢町、国道18号線バイパス沿いに位置する武蔵野音楽大学軽井沢高原研修センターは、本館とコテージ（別館）があり、自然と音楽を心ゆくまで堪能できる宿泊施設です。4つの研修室とあわせて、食堂、大・中浴場、テニスコートもあり、学生のみならず、リゾート施設として卒業生や保護者の方も利用することができます。



EDUCATION

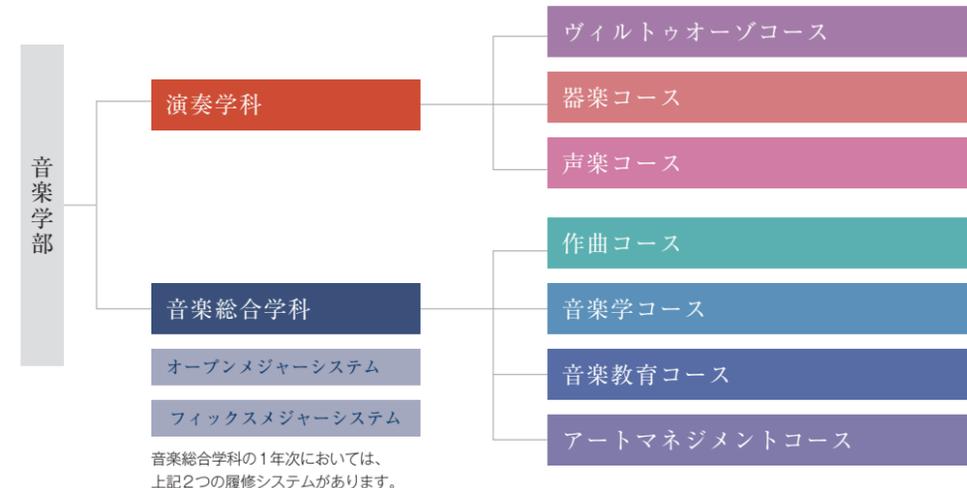
世界に通用する人材を育成する

新たな 学びの形

音楽学部

高い専門性と深い教養を身につけ

世界に通用する人材を育成するために組織された2つの学科



2つの学科では、専攻実技や専門分野の科目を充実させることはもちろん、音楽理論や音楽史などの基礎科目の充実、徹底を図るとともに、学生のさまざまな進路に応じて、専門科目や自由科目を横断的に履修する選択肢を拡げています。本学では「音楽芸術の研鑽」とともに「人間形成」を教育方針としており、さまざまな行事、正課外活動、サークル活動、寮生活などを通し、「人間形成」のための教育も充実させています。



音楽学部（学士課程）の教育研究目的

武蔵野音楽大学音楽学部は、本学の教育方針「音楽芸術の研鑽」と「人間形成」に基づき、専攻分野における専門的知識と技術を修得させるとともに、共通の基礎専門教育としてソルフェージュ・音楽理論・西洋音楽史等の基礎的知識、ならびに広い視野に立つて総合的な考察をするために必要な外国語科目・教養科目（保健体育を含む）を教授研究する。また、さまざまなコンサート・オーディション・研究発表等の実践活動への参加、ならびに実習・課外学修・インターンシップ等の現場体験を積ませる。これらの教育研究を通して、思考力・判断力・表現力を磨き、芸術的創造力を養い、さらに、専門家を目指して真摯に音楽活動に取り組む意欲を高めて、演奏家、作曲家、研究者、教育者、芸術活動に関わる企画・運営等に携わる者として、多様な社会の要請に応え、文化芸術活動に貢献する人格豊かな人材を育成することを目的とする。

武蔵野音楽大学の学び

演奏学科

		1年次	2年次	3年次	4年次
必修科目 / 選択科目	ヴィルトゥオーソコース	専攻実技/ソルフェージュ/和声/西洋音楽史/初見演奏法/管打楽器合奏/管弦楽 など	専攻実技/ソルフェージュ/和声/西洋音楽史/レパートリー研究/管打楽器合奏/管弦楽 など	専攻実技/演奏ゼミナール/即興演奏入門/オーケストラスタディ/オペラ基礎演技 など	専攻実技/卒業演奏/ピアノアンサンブル研究/管弦楽/オペラ基礎演技 など
	器楽コース	専攻実技/ソルフェージュ/和声/西洋音楽史/管打楽器合奏/管弦楽 など	専攻実技/ソルフェージュ/和声/西洋音楽史/伴奏法基礎/管打楽器合奏/管弦楽 など	専攻実技/即興演奏入門/オーケストラスタディ/管打楽器合奏/管弦楽/鍵盤音楽史 など	専攻実技/卒業演奏/オーケストラスタディ/管打楽器合奏/管弦楽 など
	声楽コース	専攻実技/ソルフェージュ/和声/西洋音楽史/声楽アンサンブル/混声合唱 など	専攻実技/ソルフェージュ/和声/西洋音楽史/ディクシオン/室内合唱/混声合唱 など	専攻実技/混声合唱/室内合唱/オペラ基礎演技/オペラ重唱 など	専攻実技/卒業演奏/混声合唱/室内合唱/オペラ基礎演技 など
必修科目	全コース共通	外国語科目 英語/基礎ドイツ語、基礎イタリア語、基礎フランス語よりいずれか1科目	英語/基礎ドイツ語、基礎イタリア語、基礎フランス語よりいずれか1科目	3、4年次の外国語科目は自由科目です。	
	教養科目	キャリアデザイン(導入編)	キャリアデザイン(展開編)		
+					
自由科目					

音楽総合学科

		1年次	2年次	3年次	4年次	
必修科目 / 選択科目	オープンメジャーシステム	基礎科目 音楽の世界史 音楽心理学(基礎) 現代社会と音楽 現代と音楽ビジネス 音楽指導実践(基礎) ポピュラー・カルチャー論 デジタルメディア進化論 ビジネスマナーとコミュニケーション能力 音楽アナリーゼ(基礎) 音楽アナリーゼ(発展) 楽譜作成ソフトウェア講座	作曲 2年次に「音楽基礎理論」を履修、他はフィックスメジャーシステムの作曲コースと同じ科目	音楽学 2年次に「音楽学概論」を履修、他はフィックスメジャーシステムの音楽学コースと同じ科目	音楽教育 2年次に「音楽教育学概論」を履修、他はフィックスメジャーシステムの音楽教育コースと同じ科目	
	フィックスメジャーシステム	作曲コース	作曲法/ピアノ/ソルフェージュ/西洋音楽史/記譜法/音楽基礎理論 など	作曲法/映像音楽概論/DAW/オーケストレーション など	作曲法/創作応用研究/DAW/オーケストレーション など	作曲法/創作応用研究/卒業作品/楽曲アナリーゼ など
		音楽学コース	音楽学概論/ピアノ/ソルフェージュ/和声/西洋音楽史 など	音楽学研究/楽書講読/日本音楽史 など	音楽学研究/楽書講読/特別演習/音楽美学 など	音楽学研究/音楽ジャーナリズム論/総合演習/卒業論文 など
		音楽教育コース	音楽教育学概論/基礎実技/ソルフェージュ/和声/西洋音楽史 など	音楽教育史/音楽指導実践研究/アンサンブル指導法 など	音楽指導実践研究/音楽実技/音楽心理学研究 など	卒業論文演習/卒業論文/生涯教育・社会福祉と音楽 など
		アートマネジメントコース	アートマネジメント研究(基礎)/音楽実技/西洋音楽史 など	アートマネジメント研究(応用)/舞台技術概論 など	アートマネジメント実習/コンピュータ音楽実習 など	アートマネジメント研究(応用)/企画制作演習/卒業論文 など
必修科目	両システム全コース共通	外国語科目 英語/基礎ドイツ語、基礎イタリア語、基礎フランス語よりいずれか1科目	英語/基礎ドイツ語、基礎イタリア語、基礎フランス語よりいずれか1科目	3、4年次の外国語科目は自由科目です。		
	教養科目	キャリアデザイン(導入編)	キャリアデザイン(展開編)			
+						
自由科目						

※必修科目、選択科目のうち、専門科目はコース(専修)ごとに指定されています。詳細は各コース(専修)のページ(演奏学科は19ページ以降、音楽総合学科は33ページ以降)を参照してください。

授業科目は「必修科目」「選択科目」「自由科目」に区分しています。「必修科目」は必ず修得しなければならない科目のこと、「選択科目」は指定された科目群から所定の単位数以上を修得する科目のこと、「自由科目」はすべてのコースを対象として開講されている科目群から自由に履修できる科目のことです。なお、各授業科目は「専門科目」「外国語科目」「教養科目」「基礎科目」のカテゴリーに分けられています。

各授業は適切な人数で受けられるようクラスを編成しており、ソルフェージュ、英語などは、学年ごとに習熟度別のクラスを編成し学修効果の向上を図っています。また、教育職員免許状を取得するための教員免許課程、学芸員の資格を取得するための学芸員課程があります。

自由科目

		1年次	2年次	3年次	4年次		
全コース共通	専門科目	ミュージカル入門 メンタルトレーニング入門 音楽療法入門 舞台芸術概論	スコアリーディング オルフの音楽教育 音楽イノベーション 合奏 和楽器 日本伝統歌唱	伴奏法 指揮法 吹奏楽指導法研究 ピアノ指導法研究 合唱指導法研究 西洋音楽史	管弦楽史 歌曲史 オペラ史 宗教音楽史 オペラ概論 通奏低音	室内楽・重奏*(ピアノ/木管楽器/金管楽器/弦楽器) 様々な音楽の演奏実践(西洋古楽/雅楽/箏曲) 声楽伴奏法(ピアノ)* オペラ* 指揮* チェンバロ演奏法* *印のついた科目は、履修者選抜のためのオーディションがあります。	
	外国語科目	1、2年次の外国語科目は必修科目です。		コミュニケーション英語 リーディング& ライティング英語	基礎ドイツ語 基礎イタリア語 基礎フランス語	ドイツ語会話 ドイツ語講読 イタリア語会話	イタリア語講読 フランス語
	教養科目	哲学 美学 音と響きの科学 自然科学概論	日本演劇文化論 日本語表現法 文化史	ヨーロッパの歴史 ヨーロッパの文学 ヨーロッパの美術史	日本国憲法 生活と法	経済学 会計の基礎 コンピュータ・リテラシー	スポーツ スポーツ教養演習
	基礎科目	音楽の世界史 音楽心理学(基礎) 現代社会と音楽	現代と音楽ビジネス 音楽指導実践(基礎) ポピュラー・カルチャー論	デジタルメディア進化論 ビジネスマナーと コミュニケーション能力		音楽アナリーゼ(基礎) 音楽アナリーゼ(発展) 楽譜作成ソフトウェア講座	

アドミッション・ポリシー (入学受入れの方針)

武蔵野音楽大学の建学の精神「(和)のこころ」、および教育方針である「音楽芸術の研鑽」と「人間形成」に共感する以下のような学修意欲と能力を備えた者を、各コースの専攻別科目、共通科目、面接、調査書等による多面的・総合的な入学試験によって選抜します。

- 1 本学の建学の精神と教育方針のもとで学修するに相応しい、豊かな人間性を有する者。
- 2 音楽を主体的に学び深めることにより、音楽の美を探究する意欲のある者。
- 3 専攻の学修に必要な能力と基礎的学力、および思考力、判断力を備えた者。

カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針)

武蔵野音楽大学の教育方針である「音楽芸術の研鑽」と「人間形成」を具現するため、音楽学部全2学科に、必修科目、選択科目、自由科目を開講し、各コースの教育目的に合うよう、以下のようにカリキュラムを編成します。

- 1 授業科目は原則として4学年を8つに区分したセメスターごとに開講し、各専攻分野に求められる知識、能力等を段階的、体系的に修得できるよう編成する。この際、教養科目は必修科目および自由科目の一部として、全学年を通して履修を可能とする。
- 2 専攻実技科目については、個人レッスンにより技量の向上を図るとともに、さまざまな研究発表・演奏等の機会を設け、実践的な体験を積ませる。また、成績評価は実技試験等の結果を踏まえ、別に定めた評価基準により行う。
- 3 クラス授業科目については、開設科目の特性および到達目標を踏まえたクラス編成による授業を通して、グループワーク、プレゼンテーション、ディスカッション等を重視した教育方法を積極的に導入する。また、成績評価は定期試験等の結果を総合的に勘案し、別に定めた評価基準により行う。
- 4 教育的見地から、年次ごとの履修単位の上限を定め、かつ3年次への進級に際しては修得すべき単位を定めた進級基準を設ける。

ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針)

武蔵野音楽大学音楽学部(学士課程)の目的に基づき、4年以上在学して124単位以上を修得し、以下の知識・能力等を身につけたと認められる者に、学士(音楽)の学位を授与します。

- 1 専攻分野における基礎的な知識・能力に加え、専門的な能力(演奏学科では演奏能力、音楽総合学科の作曲コースでは創作能力、音楽学コースでは研究能力、音楽教育コースでは教育能力、アートマネジメントコースではアートマネジメント能力)を身につけている者。
- 2 正課の授業および正課外でのさまざまな学修体験を通して、豊かな人間性と学修に対する継続的な強い意欲を身につけている者。
- 3 自ら考え、創造する能力を育成し、予測することが困難な社会の諸課題に対応できる判断力、コミュニケーション能力等を身につけている者。

演奏学科

THE DEPARTMENT OF MUSIC PERFORMANCE

ヴィルトゥオーゾコース
有鍵楽器・管楽器・打楽器・弦楽器・声楽 P.21

器楽コース
有鍵楽器・管楽器・打楽器・弦楽器 P.23

声楽コース P.31

高い専門性と豊かな表現力 ～演奏する身体を意のままに操る喜び

能力や個性に合わせた密度の濃いレッスン
高度な技量と音楽性を身につけ、演奏会やコンクールに挑む

演奏学科の特徴

能力や個性に合わせて質の高い学びを追究

演奏学科のヴィルトゥオーゾ、器楽、声楽の3コースでは、それぞれのコースで能力や個性に合わせた個人レッスンが行われています。優れた指導者による密度の濃い充実したレッスンによって、学生一人ひとりが高度な技量と音楽性を身につけることができます。さらに、本学では海外から著名な演奏家・指導者を客員教授として招き、随時特別レッスンや公開講座、演奏会などを実施しています。これらは専門分野の技術向上に役立つだけでなく、演奏学科の学生にとって専攻を超えた幅広い視野を獲得することができる絶好の機会となっています。

舞台での演奏が多数経験できることも、演奏学科の特徴の一つです。コース別に演奏会形式の公開試験を実施し、さらに学内外のホールでは、オーケストラや合唱団、ウィンドアンサンブルの定期公演のほか、数々の合奏・オペラ授業の発表、国内外への演奏旅行もあります。このような機会は学生たちにとって貴重な経験であると同時に、これらを目指して研鑽を積むことが各々の技術を格段に向上させることにつながっています。

演奏学科の学生には4年間の集大成としてベートーヴェンホールでの「卒業演奏」が課せられます。この演奏で優秀な成績を修めた学生は、本学卒業演奏会への出演のほか、本学主催あるいは一般社団法人主催の新人演奏会などに出演することができます。

卒業後の 進路例

- 大学院進学
- 海外留学
- 演奏家
- 指揮者
- オーケストラ団員
- 伴奏ピアニスト
- コレペティートル
- オペラ歌手
- 合唱団員
- ミュージカル歌手
- 音楽隊隊員
(自衛隊・警察等)
- サウンド・クリエイター
- 大学教員
- 小学校・中学校・
高等学校教員
- 音楽教室講師
- 吹奏楽指導者
- 音楽系企業
- 音楽出版社
- 一般企業

ヴィルトゥオーゾ コース

世界というステージで活躍する、プロの演奏家への途

- 有鍵楽器専修
- 管楽器専修
- 打楽器専修
- 弦楽器専修
- 声楽専修



コースの特徴

POINT

1 実技教育に特化したプロの演奏家を育てるコース

イタリア語で「音楽の名手」、「芸術(音楽)の技術に優れた人」を意味する「ヴィルトゥオーゾ」を冠した本コースでは、プロの演奏家を育てるための実践本位のカリキュラムが組まれています。器楽、声楽ともにプロとしての演奏活動の根幹となる豊かな専門知識と演奏技術を身につけることができます。また、数多くの演奏会は、日頃の成果を発揮する場としてはもちろん、課題を見据え、目標を設定するための重要なステップでもあります。さらに海外の著名な演奏家・指導者を客員教授として招き、随時特別レッスンや公開講座、演奏会などもあり、まさにヴィルトゥオーゾへと続く道が整えられています。

POINT

2 実践本意のカリキュラム 夢を実現しようとする学生をサポート

ヴィルトゥオーゾコースでは、国内外の優れた講師による充実した専攻実技レッスン(90分)を受けることができるほか、専攻に応じた合奏・室内楽・合唱・重唱などの授業や、「レパートリー研究」「演奏ゼミナール」といった実学の詰まった科目が必修として組み込まれています。さらに、リサイタル形式の公開演奏試験や選抜学生による「ニュー・ストリーム・コンサート」など、学内のホールや都内の著名なホールを使用した実践的な舞台経験も、年間を通し数多く行われます。ホールでの演奏経験は高度な演奏能力と多くのレパートリーの体得につながり、夢を実現させるための大きな力となります。

PICK UP 授業

専攻実技レッスン(ピアノ)

永岡 信幸 教授



専攻実技レッスン(声楽)

小畑 朱実 教授



専攻実技レッスン(クラリネット)

山本 正治 特任教授



声楽アンサンブル

堀内 康雄 教授



伴奏法基礎

永田 順子 教授



卒業演奏



専門科目

必修科目

専攻実技
卒業演奏
レパートリー研究
演奏ゼミナール
ソルフェージュ
和声
西洋音楽史

選択科目

初見演奏法 [ピアノ]
伴奏法基礎 [ピアノ・オルガン]
通奏低音 [オルガン]
ピアノアンサンブル研究 [ピアノ]
即興演奏入門 [ピアノ・オルガン]
即興演奏法 [オルガン]
ピアノ [オルガン・管楽器・打楽器・弦楽器・声楽]
声楽 [ピアノ・オルガン・管楽器・打楽器・弦楽器]
混声合唱または女声合唱
ソルフェージュ

和声
対位法
楽式
楽器学
鍵盤音楽史 [ピアノ]
音楽美学
日本音楽概論
諸民族音楽概論
管弦楽 [管楽器・打楽器・弦楽器]
管・打楽器合奏 [管楽器・打楽器]
管楽合奏 [管楽器]

打楽器合奏 [打楽器]
弦楽合奏 [弦楽器]
オーケストラスタディ [管楽器・打楽器・弦楽器]
室内楽 [弦楽器]
声楽アンサンブル [声楽]
室内合唱 [声楽]
オペラ基礎演技 [声楽]
オペラ重唱 [声楽]
ディクシオン [声楽]
(ドイツ語・イタリア語・フランス語)

※上記科目とあわせて17~18ページ掲載の科目を履修します。 ※[]内記載の専攻のみ履修可能。

STUDENT'S MESSAGE

大学生活における全ての学びが 演奏家へのステップ

曾田 響 ヴィルトゥオーゾコース ピアノ専攻 4年
武蔵野音楽大学附属高等学校出身

ヴィルトゥオーゾコースの実技試験は、リサイタル形式で行う公開試験となっています。演奏会を意識したプログラムを組み、お客様の前で演奏する機会をいただくことで、自身の演奏技術を磨き、表現の可能性を大きく広げられるだけでなく、演奏家としての自覚を高めることができます。また実技以外の必修科目も実践的なものになっており、「レパートリー研究」や「演奏ゼミナール」などの授業においては、演奏会における曲目構成や演奏解釈研究などを学び、実技につながる幅広い知識を得ることができます。



器楽コース

有鍵楽器専修

ピアニスト、オルガニストとしての高度な演奏へ結実
プロの音楽家になるチャンスも

開講している専攻楽器

ピアノ/オルガン



コースの特徴

POINT

1

ピアノ専攻 多彩な授業によりさらに高度なピアノ演奏へ、協奏曲を演奏するチャンスも

基本となるソロのレパートリー修得に加え、1、2年次では「初見演奏法」、「伴奏法基礎」などを、3、4年次では「ピアノアンサンブル研究」や「即興演奏入門」を学び、それまで培ってきたピアノ技術をより高度な演奏へと結実させるカリキュラムが組まれています。進路に応じて「ピアノ指導法研究」や「室内楽・重奏」などを自由科目から選ぶことができるほか、ソリストオーディションで選ばれた学生は、毎年国内外で行っている本学管弦楽団演奏会において協奏曲を演奏できるチャンスがあります。

POINT

2

オルガン専攻 オルガン専攻独自のカリキュラムと、6台のパイプオルガンで演奏法を修得

本学には、小型から大型まで6台のパイプオルガンがあり、特に江古田キャンパスのベートーヴェンホールと入間キャンパスのバッハザールにあるオルガンは国内最大級のスケールです。学生はこれらのオルガンをレッスンで使用し、幅広い時代のレパートリーを学ぶことができます。また、バロック音楽の基礎となる「通奏低音」や「即興演奏法」などオルガン専攻ならではの授業もあり、合唱やオーケストラとの共演も含め、総合的なオルガン演奏の知識と技術を体得できます。

PICK UP 授業

専攻実技レッスン（ピアノ）

重松 聡 教授



専攻実技レッスン（オルガン）

石丸 由佳 講師



ピアノアンサンブル研究

コッホ 中村 幸子 教授



チェンバロ演奏法

西山 まりえ 講師



声楽伴奏法



卒業演奏



専門科目

必修科目

【ピアノ専攻】

専攻実技
卒業演奏
ソルフェージュ
和声
西洋音楽史
鍵盤音楽史

【オルガン専攻】

専攻実技
卒業演奏
ピアノ
通奏低音
ソルフェージュ
和声
西洋音楽史

選択科目

【ピアノ専攻】

初見演奏法
伴奏法基礎
ピアノアンサンブル研究
即興演奏入門
レパートリー研究
声楽
混声合唱または女声合唱

ソルフェージュ

和声
対位法
楽式
楽器学
音楽美学
日本音楽概論
諸民族音楽概論

【オルガン専攻】

伴奏法基礎
即興演奏入門（ピアノ）
即興演奏法（オルガン）
レパートリー研究
ピアノ
声楽
混声合唱または女声合唱

ソルフェージュ

和声
対位法
楽式
楽器学
音楽美学
日本音楽概論
諸民族音楽概論

※上記科目とあわせて17～18ページ掲載の科目を履修します。

STUDENT'S MESSAGE

恵まれた環境での演奏機会と
実践的な授業

宮本 桃花 器楽コース ピアノ専攻4年
北星学園女子高等学校出身

大学には音響の良いホールがいくつもあり、試験をはじめ学内のコンサートなど、舞台経験を積むことで演奏技術の向上につなげています。また、個人レッスン以外にも、器楽や声楽の伴奏、アンサンブルの授業などで、ピアノソロ以外の演奏形式を広く実践的に学ぶ機会も多くあります。素晴らしい先生方の指導と恵まれた環境の中で、仲間と刺激合いながら、より深く豊かな音楽表現を目指していきたいです。

器楽コース

管楽器専修

さまざまなステージでさまざまな楽器が織りなす、ソロだけでは味わえないアンサンブルの喜びを体験

開講している専攻楽器

フルート/オーボエ/クラリネット/サクソフォーン/
ファゴット/ホルン/トランペット/トロンボーン/
ユーフォニアム/テューバ



コースの特徴

POINT

1

大編成の管弦楽団・吹奏楽団で「音」を作り上げる喜び

国内外のオーケストラなどで豊かな演奏経験を持つ指導者や、現役の一流プレイヤーがレッスンを担当しています。学修の基本となるマンツーマンでのソロレッスンに加え、管弦楽やウィンドアンサンブル(吹奏楽)、管楽合奏などの合奏授業も充実しています。さらに習熟の発表機会としての演奏会では学内外のホールを使用し、大小さまざまな形式で行われています。管弦楽団やウィンドアンサンブルは、国内外への演奏旅行やレコーディングなども積極的に行い、常に高い評価を得ています。

POINT

2

プロへの夢を実現させるカリキュラム

将来オーケストラのプレイヤーを目指す学生のために、プロのオーケストラ奏者としての経験を持つ教員による「オーケストラスタディ」(管弦楽曲のレッスン)も開講しています。また、「室内楽・重奏」などの専門性の高い授業も選択でき、その成果をステージで発表する機会も数多く設けられています。独学では決して学ぶことのできない管弦楽・吹奏楽の合奏授業では、「自分たちだけの音」を作り上げていきます。

PICK UP 授業

専攻実技レッスン (ファゴット)

岡崎 耕治 教授



専攻実技レッスン (トランペット)

佛坂 咲千生 教授



オーケストラスタディ

丸山 勉 准教授



室内楽

板尾 克樹 准教授



フルートオーケストラ



卒業演奏



専門科目

必修科目

専攻実技
卒業演奏
ピアノ
管弦楽
管・打楽器合奏

選択科目

管弦楽
管・打楽器合奏
管楽合奏
オーケストラスタディ
レパートリー研究

ピアノ
声楽
混声合唱または女声合唱
ソルフェージュ
和声
対位法

楽式
楽器学
音楽美学
日本音楽概論
諸民族音楽概論

※上記科目とあわせて17~18ページ掲載の科目を履修します。

STUDENT'S MESSAGE

音楽とともに精進し、 貴重な時間を体験する

伊藤 楓音 器楽コース フルード専攻 4年
静岡県立伊東高等学校出身

素晴らしい先生方からのご指導のもと、日々技術が向上していると実感できる大学生活を送っています。また、数々の発表の場が設けられているため、技術面はもちろんのこと精神面も成長することができます。私の大学生活を充実させてくれたのはともに精進している仲間存在です。合奏授業ではともに音楽を創りあげることで多くの学びがあります。専修の垣根を超えてアンサンブルをしたり、フルートアンサンブルを組むことで互いに励まし合い、刺激を貰うことができました。音楽大学生だから味わうことのできる日々を経験しています。



器楽コース

打楽器専修

豊富な打楽器類と最新の充実した施設により、一人ひとりの個性を伸ばす

開講している専攻楽器

マリンバ／打楽器（スネアドラム等）／ティンパニ



コースの特徴

POINT

1

充実したカリキュラムで伸びる個性

数あるオーケストラパートの中でも最もプリミティブな楽器である打楽器は、より人間の感情が表現される楽器とも言えます。本コースの中心は、学生一人ひとりの個性を尊重し、豊かな感受性と独自の表現力を育む個人レッスン。幅広い経験を持つ指導者により、豊富な打楽器類や10室におよぶ打楽器専用のレッスン室・練習室を使用し、きめ細やかなレッスンが行われています。また、アンサンブル演奏の機会も多く、他楽器とのオーケストラ演奏や吹奏楽演奏、打楽器同士による複合的な表現力も身につきます。

POINT

2

さまざまなジャンルのレパートリーを拡げる

レッスンでは古典から現代までの打楽器作品の研究や、西洋音楽を中心とした幅広い演奏法が学べます。また、「オーケストラスタディ」（管弦楽曲のレッスン）などによって、さまざまなジャンルの作品をレパートリーにすることができます。管弦楽やウィンドアンサンブル（吹奏楽）などの合奏授業の発表の機会として著名なホールでの定期的なコンサートや国内外への演奏旅行などもあり、多彩な演奏経験を積むことで、習熟した技能を身につけています。

PICK UP 授業

専攻実技レッスン

吉原 すみれ 教授



打楽器合奏

中谷 孝哉 教授



専攻実技レッスン

安藤 芳広 講師



管弦楽



オーケストラスタディ

岡田 全弘 講師



卒業演奏



専門科目

必修科目

専攻実技
卒業演奏
ピアノ
管弦楽
管・打楽器合奏

選択科目

管弦楽
管・打楽器合奏
打楽器合奏
オーケストラスタディ
レパートリー研究

ピアノ
声乐
混声合唱または女声合唱
ソルフェージュ
和声
対位法

楽式
楽器学
音楽美学
日本音楽概論
諸民族音楽概論

※上記科目とあわせて17～18ページ掲載の科目を履修します。

STUDENT'S MESSAGE

音楽人・社会人として 大きく成長できる貴重な時間

竹内 夏希 器楽コース 打楽器専攻 4年
森村学園高等部出身

学生の音楽性・人間性を育む助言をくださる講師陣のレッスンや、音楽の専門知識を学ぶ授業はもちろん、社会人として役に立つ授業もあります。また、吹奏楽やオーケストラの授業演奏や個人的なアンサンブル演奏など、数多くの発表の場があります。そしてなにより仲間から大きな刺激を受け、切磋琢磨しながら自己を高めることができます。こうした恵まれた環境下で自身の学びたいこと・挑戦したいことに打ち込めるこの時間は、長い人生における大きな財産になると感じています。



器楽コース

弦楽器専修

オーケストラや室内楽
多くの経験を糧に自分の音楽を成長させる

開講している専攻楽器

ヴァイオリン／ヴィオラ／チェロ／
コントラバス／ハープ



コースの特徴

POINT

1

多様なニーズに応える充実したカリキュラム

弦楽器のレッスンでは、国内外の一流プレイヤーが学生の音楽性と演奏技術の向上を目指して指導します。また、音楽を学ぶうえでの基礎となるピアノ、ソルフェージュ、和声、西洋音楽史などを総合的に学ぶほか、管弦楽、室内楽、重奏等、弦楽器奏者にとっての経験として欠かすことのできないさまざまな合奏授業が用意されており、将来の進路を見据えてキャリアを積むことができます。弦楽器および音楽全体に習熟した演奏家、指導者として芸術文化の発展に貢献できる人材の育成を目的としています。

POINT

2

さまざまな演奏経験で幅広い分野で活躍できるプレイヤーを育成

本学では舞台での演奏経験を重視しており、定期的に行われるオーケストラや室内楽の演奏会をはじめ、公開での実技試験、選抜学生コンサートなど、多彩な演奏経験を積む機会が用意されています。特にオーケストラプレイヤーを目指す学生のためには、プロのオーケストラ奏者としての経験を持つ教員による「オーケストラスタディ」(管弦楽曲のレッスン)の授業も開講されています。さらに、ソリストやアンサンブルメンバーを選抜するためなどのさまざまなオーディションも行われています。

PICK UP 授業

専攻実技レッスン (ヴァイオリン)

深山 尚久 教授



専攻実技レッスン (ハープ)

井上 久美子 特任教授



専攻実技レッスン (チェロ)

黄原 亮司 特任准教授



弦楽合奏

丸山 由里子 講師



室内楽



卒業演奏



専門科目

必修科目

専攻実技 弦楽合奏
卒業演奏 室内楽
ピアノ ソルフェージュ
管弦楽 和声
管・打楽器合奏 西洋音楽史
[コントラバス、ハープ]

選択科目

管弦楽	レパートリー研究	対位法
管・打楽器合奏 [コントラバス、ハープ]	ピアノ	楽式
弦楽合奏	声楽	楽器学
オーケストラスタディ	混声合唱または女声合唱	音楽美学
	ソルフェージュ	日本音楽概論
	和声	諸民族音楽概論

※上記科目とあわせて17~18ページ掲載の科目を履修します。 ※[]内記載の専攻のみ履修可能。

STUDENT'S MESSAGE

音楽を通じて自己成長を最大限に
社会に還元できるヴァイオラ奏者を目標に

木田 桃華 器楽コース ヴィオラ専攻 4年
千葉県立幕張総合高等学校出身

プロ音楽家の先生方からの技術的指導を受けながら、日々成長を実感できる大学生活を送っています。本学では、オーケストラや室内楽、個人レッスンで学んだことを舞台上で実践できる充実したカリキュラムや環境がありますが、それを活かすのは自分次第です。これからどれだけ真実に音楽と向き合うことができるのか、残りの大学生活で自分自身が試されます。明確な目的意識を持ち、日々努力の積み重ねを大切にしていきたいと考えています。



声楽コース

舞台上で歌える喜び、さまざまな楽器との共演
体が楽器の音楽の魅力を実感



コースの特徴

POINT

1

“声”の持つ可能性を上げ、プロの声楽家や指導者に育っていく

私たちの顔が一人ひとり違うように、声帯も声の質も一人ひとり異なります。この声の特性を見つけて大事に育てていくことが、声楽を指導するうえではとても大切です。また、声楽を学ぶには言葉と音楽の関係を理解することが欠かせないため、ドイツ語、イタリア語、フランス語のディクショント、声楽家のための語学の授業も充実させています。担当教員と学生とは厚い信頼関係が結ばれ、きめ細やかなレッスンを通じ、学生の持つ可能性が大きく花開くよう指導をしています。

POINT

2

さまざまな演奏体験を通じて得られる力

学内外のホールでは、ソロをはじめ重唱や合唱などの演奏会が数多く行われ、声楽の楽しさ、難しさを経験するとともに、日々学生同士で音楽の理解を深め合っています。総合芸術と言われるオペラの学修においては国内外から一流の演出家を招き、試演会やオペラ公演も開催されています。さらに、本学管弦楽団や著名なプロのオーケストラと共演する機会があり、実践的な経験に導かれた豊かな表現力を持つ、真に芸術文化の発展に貢献できる人材が育成されています。

PICK UP 授業

専攻実技レッスン（声楽）

松本 美和子 特任教授



専攻実技レッスン（声楽）

佐藤 美枝子 教授



室内合唱

栗山 文昭 特任教授



オペラ選抜クラス



オペラ選抜クラス（バレエ）

島添 亮子 講師



混声合唱

藤井 宏樹 講師



専門科目

必修科目

専攻実技 ソルフェージュ
卒業演奏 和声
ピアノ 西洋音楽史
混声合唱

選択科目

声楽アンサンブル
室内合唱
オペラ基礎演技
オペラ重唱
ソルフェージュ

ディクショント（ドイツ語）
ディクショント（イタリア語）
ディクショント（フランス語）
レパートリー研究
ピアノ
和声

対位法
楽式
楽器学
音楽美学
日本音楽概論
諸民族音楽概論

※上記科目とあわせて17～18ページ掲載の科目を履修します。

STUDENT'S MESSAGE

個人に合わせた授業選択で
可能性を広げる

後藤 瑞実 声楽コース 4年
武蔵野音楽大学附属高等学校出身

声楽コースでは、声楽を学ぶうえで欠かすことのできない言語や音楽史などの授業、素晴らしい先生方による個人レッスンのほかに、学年全員で行う合唱やアンサンブル、選抜メンバーでのオペラの授業など、個人に合わせた授業を選択することができます。授業を通してたくさんの仲間と関わり、互いに高め合うことができるとともに、演奏会や実技試験では個人的なレベルアップができ、とても充実した学生生活を送っております。



音楽総合学科

THE DEPARTMENT OF MUSIC STUDIES

作曲コース P.35

音楽学コース P.37

音楽教育コース P.39

アートマネジメントコース P.41

音楽総合学科の理念と特色

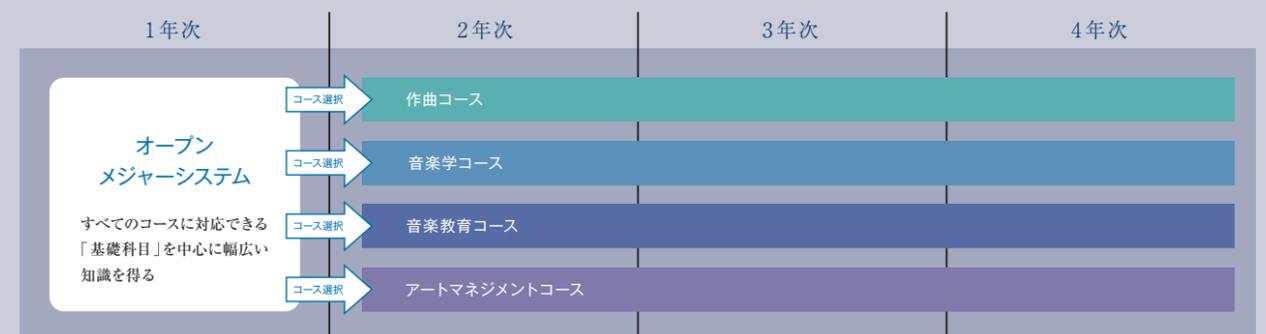
音楽大学における新しい学びのかたちの提案

音楽総合学科は、作曲・音楽学・音楽教育・アートマネジメントの4つのコースで構成されています。知識や情報のグローバル化や、ネットワーク社会が身近になる中で、音楽を専門的に学ぶ学生もこうした社会の変化に合わせて視野を広く持ち、多様な能力を身につけていく必要があります。本学科では、従来から着実な成果を上げている伝統的な音楽に根差した基礎教育と、現代社会において発達が著しいテクノロジーを組み合わせ、新しい発想で教育に取り組みます。幅広い知識を獲得し、実社会で活かせる力を身につけるため、自分の専門とするコースの科目だけでなく、他のコースの多彩な科目も履修可能です。

2種類の履修システム

1. オープンメジャーシステム

1年次における横断的な総合的学修によって、より幅広い視野を獲得するとともに、それまで気づかなかった自身の可能性を発見できるかもしれません。オープンメジャーシステムでの幅広い学びによって得られる知識・技能・経験は、現代社会における音楽関連のフィールドで大いに活かされるものです。学修にあたっては、経験豊富な教員アドヴァイザーの適切なサポートのもとで「基礎科目」を4科目以上履修し、資質や能力、意欲を考慮して2年次からのコースを決定します。なお、1年次に「フィックスメジャーシステム」を選択した場合と同等の学修効果を得るために、2年次で選択するコースにおいて追加のカリキュラムが用意されています。



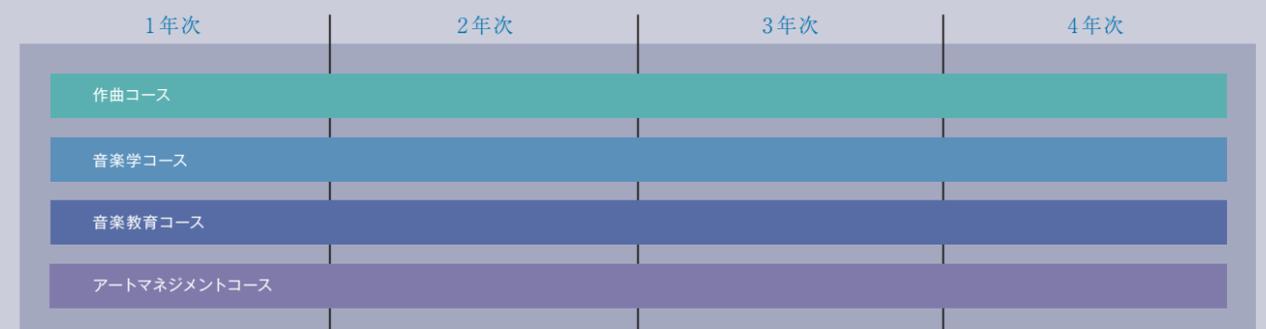
オープンメジャーシステム1年次の履修授業科目

必修科目 > 基礎科目 音楽の世界史 音楽心理学(基礎) 現代社会と音楽 現代と音楽ビジネス 音楽指導実践(基礎)	ポピュラー・カルチャー論 デジタルメディア進化論 ビジネスマナーと コミュニケーション能力 音楽アナリゼ(基礎) 音楽アナリゼ(発展) 楽譜作成ソフトウェア講座	選択科目 音楽基礎理論 記譜法 混声合唱または女声合唱 ソルフェージュ 和声 日本音楽概論 ピアノ	2年次の追加履修授業科目(必修) 作曲コース 音楽基礎理論 音楽学コース 音楽学概論 音楽教育コース 音楽教育学概論 アートマネジメントコース アートマネジメント研究(基礎)
--	--	---	--

※上記科目とあわせて17～18ページ掲載の科目を履修します。

2. フィックスメジャーシステム

入学時から専門的な学修に取り組みたいという場合には、1年次からコースを決めて学修することができます。



※各コースの専門科目(必修科目・選択科目)は35～42ページをご覧ください。

作曲コース

自分のちからで音楽を創り、
人に感動を届ける



コースの特徴

POINT

1

伝統音楽だけでなく多様なジャンルに対応できる音楽家

クラシック・吹奏楽・合唱・Jポップ・映画音楽・ゲーム音楽・DTM……。いまや音楽の裾野は際限のない広がりを見せ、多様性は日々増えています。そうした現代の潮流に対応できる音楽家を育てることが、作曲コースのねらいです。そのような中で、音楽を創造するためには「伝統音楽から学ぶ作曲技法」と「DAWを中心としたコンピュータやレコーディングのノウハウ」の修得が必須となります。本学では「アコースティック」と「エレクトリック」の双方向から学生の音楽表現の可能性を拡げていきます。

POINT

2

これからの作曲家 — キーワードは「マルチ・コンポーザー」

作曲コースでは、伝統的なクラシックの作曲法を学ぶとともに、多様化する現代のニーズに合わせたポピュラーやジャズの作曲法、コンピュータを用いたDAWの音楽制作などを学ぶことができます。学生たちは「芸術音楽」と「商業音楽」の両方に対応できる「マルチ・コンポーザー」を目標に研鑽を積み、作曲した作品は、学内外において多くの発表の機会が設けられます。自作曲演奏の機会を通じた演奏家との関わり方や、最新鋭の楽譜制作ソフトの使用法、録音、編集作業なども学べます。

PICK UP 授業

DAW（基礎）

佐藤 誠一 准教授



創作応用研究

大澤 徹訓 講師



オーケストレーション

佐山 紀彦 講師



作品発表



卒業後の進路例

- ・大学院進学
- ・海外留学
- ・作曲家
- ・指揮者
- ・編曲家
- ・音楽評論家
- ・映像音楽プロデューサー
- ・コマーシャルソング作曲家
- ・レコーディングプロデューサー
- ・大学教員
- ・小学校・中学校・高等学校教員
- ・音楽教室講師
- ・音楽系企業
- ・音楽出版社
- ・一般企業

専門科目

必修科目

- 作曲法（基礎）
- 作曲法（応用）
- 創作応用研究
- オーケストレーション
- DAW（基礎）
- DAW（応用）
- 作品演奏
- 卒業作品
- ピアノ
- ソルフェージュ
- 西洋音楽史

選択科目

- 音楽基礎理論
- 記譜法
- 映像音楽概論
- 楽曲アナリゼ
- オルガン
- 管楽器
- 打楽器
- 弦楽器
- ピアノ
- 声楽
- 混声合唱または女声合唱
- ソルフェージュ
- 音楽美学
- 日本音楽概論
- 諸民族音楽概論

※上記科目とあわせて17～18ページ掲載の科目を履修します。

STUDENT'S MESSAGE

自分に合った学修を 有意義な環境で

柳澤 遼英 作曲コース 4年
花咲徳栄高等学校出身

作曲コースでは、アカデミックな音楽理論からDAWなどの実践的なものまで幅広い授業が展開されており、自分に合った柔軟な学修ができます。年に2回の作品発表をはじめ、在学中にさまざまな発表の機会があります。また、器楽や声楽、指揮のレッスンを受けることができ、座学とは違った経験で、さらなるスキルアップにつながります。先生方も親身にご指導して下さい、学内の雰囲気も明るく、充実した環境で日々創作に励んでいます。



音楽学 コース

音楽の感動は音楽の知によって深まり、
確かなものとなる



コースの特徴

POINT

1

整った環境で音楽を実践とともに多面的に研究

音楽学コースでは、さまざまな音楽について、音楽を組織付けている理論はもちろん、歴史や思想、文化、社会との関わりなどを多面的に学びます。各分野の研究者による専門的な指導のもとで、今まで知らなかった音楽の見方や考え方や出会い、音楽の芸術的な素晴らしさや社会・文化における意味や役割を探索します。また、図書館や楽器ミュージアムなどの充実した研究施設の活用や、音楽大学の特色を活かした音楽実技履修により、実践に裏付けられた学びが可能です。

POINT

2

音楽への知的探究心をバックアップ

「音楽学概論」で音楽学の基礎を学び、2～4年次の「音楽学研究」でさまざまな研究分野の考え方や研究の現状を学んで視野を拡げ、4年次では自らを設定したテーマで卒業論文作成に取り組みます。例年、卒業論文のテーマは多岐にわたりますが、論文の作成を通して、「調べる力」「考える力」「発信する力」が培われます。そうした力をつけた本コースの卒業生は、音楽の研究はもちろん、教育や評論、出版、舞台制作、図書館など、さまざまな分野で活躍しています。

PICK UP 授業

音楽学研究

薦田 治子 教授



音楽学概論

稲田 隆之 教授



楽書講読

宮崎 晴代 講師



音楽学研究

米田 かおり 講師



卒業後の進路例

- ・大学院進学
- ・海外留学
- ・音楽研究者
- ・音楽評論家
- ・図書館員
- ・大学教員
- ・小学校・中学校・高等学校教員
- ・音楽教室講師
- ・カルチャースクール講師
- ・音楽出版・マスコミ関係
- ・音楽関係機関・団体
- ・音楽系企業
- ・音楽ホール企画・運営
- ・演奏家
- ・一般企業

専門科目

必修科目

- 音楽学概論
- 音楽学研究
- 楽書講読
- 特別演習
- 日本音楽史
- 音楽ジャーナリズム論
- 総合演習
- 卒業論文
- ピアノ
- ソルフェージュ
- 和声
- 西洋音楽史

選択科目

- 音楽美学
- 諸民族音楽概論
- ピアノ
- 声楽
- 混声合唱または女声合唱
- 和声
- 対位法
- 楽式
- 楽器学

※上記科目とあわせて17～18ページ掲載の科目を履修します。

STUDENT'S MESSAGE

「音楽」の謎を解き明かす方法が 得られる場所

横田 采音 音楽学コース 3年
静岡県立沼津西高等学校出身

音楽学コースでは「音楽学研究」や「楽書講読」、「特別演習」などの授業で、西洋・日本音楽に限らないさまざまな「音楽」に関する事柄について自ら調べ、知る方法を学ぶことができます。膨大な所蔵量を誇る大学図書館や、数々の貴重な楽器が収められている楽器ミュージアムも、学修の助けとなってくれることでしょう。同級生は皆興味のある分野こそ違いますが、だからこそ思いも寄らないところから新たな知見を得られる機会も多々あります。



音楽教育 コース

音楽の魅力を伝え、
教えることで感動を分かち合う



コースの特徴

POINT

1

高い専門性と豊かな人間性を備えた指導者を育成

次世代の音楽指導者を育成するための音楽教育コースでは、高い専門性と豊かな人間性を兼ね備えた人材の育成を目指しています。子どもたちの情操教育からシニアの趣味家層まで、幅広い世代の人々に音楽の魅力を伝えることは、いまや欠かせない社会貢献です。楽器演奏や歌唱のノウハウを教え、ともに演奏を行い、感動を分かち合う。それは音楽を通して心を通わせるコミュニケーションの世界です。本コースで確かな技能と指導能力を学び、心と技術を備えた魅力あふれる音楽の伝道者を目指しましょう。

POINT

2

学校教育現場に必要な実践的指導力を身につける

音楽教育コースでは学校の教員をはじめ、音楽教室や音楽団体など多様な場面で音楽の指導を通じて活躍する人材を育成しています。そこには幅広い知識や演奏技能、指導力はもちろん、何よりも教育に対する使命感や情熱、高潔な人間性が求められます。本コースでは多様なニーズに対応し、指導者としての資質を十分に備えることができるよう、各種楽器演奏や声楽の基礎技術を中心に、西洋音楽史や音楽教育史など、専門知識を学ぶための豊富なカリキュラムが編成されています。

PICK UP 授業

音楽指導実践研究

加藤 徹也 教授



音楽指導実践研究

山崎 正彦 講師



音楽教育学研究

大場 ゆかり 講師



卒業論文指導



卒業後の進路例

- ・小学校・中学校・高等学校教員
- ・音楽教室講師
- ・福祉関係施設職員
- ・大学院進学
- ・音楽出版社
- ・一般企業
- ・大学教員
- ・音楽系企業
- ・海外留学

専門科目

必修科目

- 音楽教育学概論
- 音楽教育史
- 音楽教育学研究
- 音楽指導実践研究
- 音楽指導者論
- 卒業論文演習
- 卒業論文
- 基礎実技 (ピアノ・オルガン・管楽器・打楽器・弦楽器・声楽)
- ピアノ
- ソルフェージュ
- 和声
- 西洋音楽史

選択科目

- 音楽心理学研究
- 生涯教育・社会福祉と音楽
- アンサンブル指導法
- 音楽実技(管楽器・打楽器・弦楽器・声楽)
- ピアノ
- 混声合唱または女声合唱
- ソルフェージュ
- 和声
- 対位法
- 楽式
- 楽器学
- 音楽美学
- 日本音楽概論
- 諸民族音楽概論

※上記科目とあわせて17~18ページ掲載の科目を履修します。

STUDENT'S MESSAGE

実践的な知識・技能と これからの音楽教育のあり方を学ぶ

江川 芳香 音楽教育コース4年
静岡県立清水南高等学校出身

音楽教育コースは、発表の場を通して先生方のフィードバックや周りとの対話を重ねながら実践的な知識を身につけることができます。また、指導能力だけでなく、音楽教育史や論文から現代の教育背景についても学び、それを踏まえたこれからの音楽教育のあり方について深く学べることも大きな魅力です。

技能分野では専攻楽器に限らず、他の楽器・声楽も履修することができます。教育・実技ともに素敵な先生方がかりなので、温かい雰囲気、環境で自分の技能に自信をつけ、毎日の大学生活が充実しています。



アート マネジメント コース

Arts Management —
それは、感動の輪を拡げる仕事
芸術を社会に広め、花を咲かせる



コースの特徴

POINT

1

芸術文化活動を力強く支える人材の育成

華やかな音楽のステージは、アーティストと各分野の専門スタッフ、そして彼らをリードするアートマネジャーとの共同作業によって創造されています。アートマネジメントコースは、芸術的感性とマネジメント能力を備え、舞台芸術の現場で活躍するアートマネジャーの育成を目指しています。アーティストの魅力を引き出し、舞台にまばゆいきらめきを与え、ビジネスとしてもマネジメントできる能力を備えたアートマネジャーは、音楽文化の創造者として時代に求められる存在です。

POINT

2

実践本位のカリキュラムと充実した学修環境

アートマネジメントコースでは、主としてコンサートやオペラなど各種公演の企画・制作・宣伝や、劇場・ホールなどの施設管理・運営について学びます。芸術文化の第一線で活躍する専門家が講師を務め、学内外で行われる数多くの公演の現場において実習経験を積んでいきます。また、音楽史・音楽理論・音楽実技などの専門科目やコンピュータ音楽、録音技術などの基礎を学ぶとともに、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力などを養い、ビジネスマナーも身につけます。

PICK UP 授業

卒業論文指導

中川 俊宏 教授



アートマネジメント研究

見学実習における事前研究



アートマネジメント研究

芸術文化施設見学実習



コンピュータ音楽実習

安田 寿之 講師



卒業後の進路例

- ・音楽ホールの企画・運営・管理
- ・音楽系企業
- ・芸術団体の制作スタッフ
- ・音響・照明などの舞台技術スタッフ
- ・大学院進学
- ・テーマパークの企画・運営
- ・音楽イベントプロデューサー
- ・学芸員等文化施設の専門スタッフ
- ・マスコミ関係
- ・一般企業

専門科目

必修科目

アートマネジメント研究(基礎)
アートマネジメント研究(応用)
舞台技術概論
劇場音響概論
広報宣伝資料製作
アートマネジメント実習
芸術文化政策論

コンピュータ音楽実習
企画制作演習
卒業論文
音楽実技
(ピアノ・オルガン・管楽器・打楽器・
弦楽器・声楽)
西洋音楽史

選択科目

映像音楽概論
演劇論・演出論
舞踊概論
音楽実技
(ピアノ・オルガン・管楽器・打楽器・
弦楽器・声楽)
ピアノ

混声合唱または女声合唱
ソルフェージュ
日本音楽概論
諸民族音楽概論
声楽
和声
対位法
楽式
楽器学
音楽美学

※上記科目とあわせて17~18ページ掲載の科目を履修します。

STUDENT'S MESSAGE

肌で感じて学ぶ、 制作の世界

渡瀬 明日香 アートマネジメントコース 4年
兵庫県立西宮高等学校出身

私は、より良い企画・制作で芸術家たちを支えられる人になりたいと思い、このコースに入学しました。ひとつの舞台をつくるには、企画発案力はもちろん、制作に関わる人たちの仕事内容を理解したうえでスケジュールを組むなど、広い視野と知識、行動につなげる力が必要とされます。アートマネジメントコースの魅力は、芸術文化に関する研究で芸術界の仕組みや課題について学びながら、実践でさらに理解を深め、力をつけることができる点だと思います。



PROFESSORS

あなたの夢の実現に向けて

講師陣からの メッセージ



福井 直昭 学長・ヴィルトゥオーゾコース長

担当：ピアノ

Message

失敗した悔しさを味わうことが、人生をより豊かなものに

音楽家には日々の継続した練習・努力が必要で、孤独な作業を強いられることも多々ありますが、今やるべきことをやり抜くことは、自身の潜在能力を開花させる大きな原動力となります。そして、本番で成功した喜び、いや、むしろ失敗した悔しさを味わうことこそ、結果的に次のステップへつながるだけでなく、人生をより豊かなものにするのです。皆さんが、本学においてできるだけ多くの達成感や充実感を味わいながら、少しでも大作曲家たちの作品の真理に近づけるよう、我々教職員は、本学が誇る施設・設備の中、全力でサポートしていきます。

田代 慎之介 演奏学科長・器楽コース長

担当：ピアノ

Message

音楽にあふれたキャンパスで、感性を磨き技術の研鑽を

江古田キャンパスは、リストプラザを中心に学生たちの若いエネルギーが明るく光りを放っていて、いつも音楽にあふれています。きめ細やかな個人レッスンとともに、アンサンブルや伴奏法などの実践的な授業、また、学生によるコンサートなどの演奏機会も設けられた充実したカリキュラムのもと、専門分野の研鑽と同時に、音楽の真の美しさを感じ取る感性を磨き、長き生涯にわたり音楽を自らの支えにできる基盤を形成してください。



佐藤 美枝子 声楽コース長

担当：声楽

Message

さまざまな分野での成長を優れた講師陣がきめ細やかに指導

声楽コースには、多岐にわたる授業があり、基礎はもちろん総合芸術として内容を深めるために不可欠なカリキュラムが整っています。本学の建学の精神を重んじ、仲間との繋がりを大切に、ともに切磋琢磨することで社会性を養い、さまざまな分野で大きく成長できるよう、エキスパートである優れた教員がきめ細やかに指導していきます。乾いたスポンジが水を含むように、皆さんの学びを吸収し、有意義な学生生活を満喫してください。



岡崎 耕治

担当：ファゴット

Message

夢の実現に向けて、質の高い音楽を志す

本学では音楽を、楽器を愛している方たちを歓迎します。演奏家や教育者になりたい、音楽業界で働きたいなどの皆さんの将来の夢や希望を叶えるために専門的に勉強できる大学です。数々のオーケストラなどで優れた経験をされた先生から、1年次には基礎から勉強し、個人のレベルに合わせて、学年が上がるにつれて難易度の高い曲に挑戦し、マンツーマンで指導を受けることができます。4年間で多くの曲を学び、質の高い音楽を志してほしいと思います。





吉原 すみれ

担当：打楽器

Message

徹底した基本テクニックの修得から、演奏技術の向上を目指す

学内の充実した練習環境で、打楽器、鍵盤打楽器ともに、レッスンにおいては、基本テクニックを徹底的に指導しています。基礎をきちんと身につけ、自分の出す音をよく聞き、自分がどういふ音を出したいのかをイメージすることで、演奏技術の向上につながります。受験時期は、技術面など短期間で修得できることと、譜読みや曲の仕上げなど長期間かけて修得することを目標に定めるなど工夫して、楽しく乗り切ってください。



中川 俊宏

アートマネジメントコース長

担当：アートマネジメント

Message

理論と実践を学び、ショービジネスの世界へ

アートマネジメントコースは、舞台芸術やショービジネスを愛する皆さんを力強くサポートしていきます。カリキュラムは、理論と実践がバランスよく組み合わせられ、教室と現場での学修が相互に補完し合うことで相乗効果が発揮されます。また、仲間と協働で何かを創り上げる機会も設けられています。その際求められるのが論理的な思考力・文章力とコミュニケーション能力です。仲間たちと楽しく学び、皆さんが日本の芸術文化を元気にしてください。

深山 尚久

担当：ヴァイオリン

Message

失敗を恐れず積極的な姿勢で、専門分野を学ぶ

勉強のレールがある程度敷かれていた高校までとは違い、大学では自分が学びたいと思うことを専門的に学ぶことができますが、一方そのための気力と真のモチベーションが問われます。やり直しには大きなエネルギーが必要ですから、悔いのない選択をしましょう。本学では、学生それぞれの性格に合わせ、長所を伸ばすことを第一に考えて指導をしています。ぜひ失敗を恐れず、積極的な学生生活を送ることをお勧めします。



野崎 勇喜夫

作曲コース長

担当：作曲・音楽理論

Message

一人ひとりの適性に合わせた指導で、理想の音を作る

作曲コースでは、学生一人ひとりの適性に合わせ、何を勉強していく必要があるのか教員が見定めながら指導内容を考えていきます。作曲の基礎や技術の修得、吹奏楽やオーケストラなどによる作編曲の技術や音楽制作のノウハウを学びます。主体的な学びは必ず自分の将来につながります。積極的に音楽と関わり、学ぶ習慣を身につければ学生生活は有意義なものとなり、卒業後の進路や進むべき方向性も、おのずと決まってくるはずです。



山口 道子

担当：声楽

Message

基礎をしっかりと学び感性を磨き、人間力を養う

声楽は唯一「言葉」を有する音楽で、よりダイレクトに聴く人の心にメッセージを伝えることができます。何事も基礎が大切です。発声や曲の解釈など音楽の基礎をしっかりと学び、充実したレッスンや、多くの演奏機会を通して、感性を磨き、本学の教育方針の1つである「人間形成」を行います。音楽だけではいすべてに通じる「人間力」を身につけ、実りある学生生活を送り、夢への第一歩を踏み出してください。



薦田 治子

音楽学コース長

担当：日本音楽史・民族音楽学

Message

音楽について学ぶ力を育て、「知」の発信者に

音楽学コースでは、音楽について調べる力、考える力、書く力を身につけます。これらは、音楽に関わるどのような職業にも役に立ちます。人はなぜ音楽に癒されるのか？なぜ遠く離れたヨーロッパの音楽が日本でも親しまれているのか？私たちの身の回りの音楽の「なぜ」を考え、知ること、音楽を聴く際の喜びや楽しみは何倍にも広がります。音楽が大好きで、好奇心旺盛な学生たちを、「知」の発信者にして育てたいと思っています。

青山 聖樹

担当：オーボエ

Message

楽譜から作品を読み解き、最高の音楽を表現できるように

実技レッスンでは、楽器の基礎力はもちろんのこと、楽譜から作品を読み解く能力を育て、音楽を表現する勉強を徹底します。在学中に多くのレパートリーを学び、発表の場を積み重ねることで、着実に力をつけることができるため、実際に国内外のオーケストラで音楽家として活動するなど、演奏家として自立している卒業生がたくさんいます。入学試験は誰でも緊張するものですが、受験生の皆さんには、自分の可能性を信じて挑戦してほしいと思っています。



加藤 徹也

音楽総合学科長・音楽教育コース長

担当：音楽教育

Message

指導者の指導性と学習者の主体性が調和する学習活動を実践

音楽教育コースには「音楽の魅力をより多くの人たちに伝え、音楽の指導に携わりたい」という思いや志を持った学生が集まっています。音楽の楽しみ方にさまざまな形があるように、音楽の学びや指導の場面も多様であり、それぞれの特徴や利点を知ることが大切なことと言えるでしょう。私は、指導者が指導性を発揮する場面と学習者が主体性を発揮する場面が調和したところに、充実した学習活動が成り立つと考え、日々心がけています。



客員・特別招聘教授メッセージ

GUEST PROFESSORS' MESSAGE



私の音楽人生と心に刻まれた、学生の誠意と情熱

Ray E. Cramer

レイ・E. クレーマー (ウインドアンサンブル指揮)
インディアナ大学名誉教授/武蔵野音楽大学名誉教授

1990年に始まった武蔵野音楽大学との関係は、既に約30年が経過しています。そして、現在でも学生たちと音楽的な体験を共有することができていることを心から嬉しく思います。武蔵野のオーケストラやウインドアンサンブルは国内だけでなく、海外でも高い水準の演奏を行っており、プロの演奏家を目指している皆さんは、武蔵野音楽大学の奥深い音楽を存分に経験するべきと思っています。

Profile

インディアナ大学にて吹奏楽学科主任教授およびバンドディレクターとして活躍し、全米吹奏楽指導者協会会長など吹奏楽協会の要職を歴任。数多くの受賞歴を持つ。



音楽を楽しみ、音楽に接するときはいつも笑顔で

Rudolf Piehlmayr

ルドルフ・ピールマイヤー (管弦楽団指揮)
武蔵野音楽大学客員教授

2012年武蔵野音楽大学管弦楽団のドイツ演奏旅行をはじめ、東京での定期演奏会や日本国内演奏旅行で指揮者を務めた際の、学生の演奏に対する真摯な姿勢は素晴らしく、常にリラックスした環境の中で指揮に集中することができました。ドイツには「笑いのない日は、失われた一日である」という言葉があります。皆さんも音楽に接するときはいつも笑顔で、ぜひ音楽を楽しんでください。

Profile

ミュンヘン音大で研鑽を積み、レーゲンスブルク歌劇場などの第一指揮者を経て、アウグスブルク劇場音楽監督、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管客演指揮者などを歴任。ヨーロッパの劇場で活躍している。



家族の一員として、学生たちにより良い生き方を

Ilya Itin

イリヤ・イーティン (ピアノ)
武蔵野音楽大学客員教授

武蔵野音楽大学という“家族”の一員になれたことは、私にとって大変幸せなことです。キャンパスを包む「和」の雰囲気は、ここでの指導を特別なものにしてくれます。私たちの役目は、すべての学生たちの生き方をより良いものへ変えていくことであり、音楽は私たちすべてをつなげるものです。皆さん全員がお互いに影響を与え合い、高め合っていくことを望んでいます。

Profile

モスクワ音楽院を最優秀で卒業。レフ・ナウモフ氏に師事。リーズ国際ピアノコンクール第1位、ラフマニノフ国際コンクール第2位など受賞歴多数。著名オーケストラ、指揮者との共演多数。世界中で演奏活動を行う他、コンクールの審査員も多数務める。



超満員の聴衆とのエキサイティングな時間

Kemal Gekić

ケマル・ゲキチ (ピアノ)
フロリダ国際大学教授/武蔵野音楽大学客員教授

客員教授として武蔵野音楽大学を訪れ、学生たちや先生へのレッスン、ソロリサイタルを行うたび、学内にあふれるプロフェッショナルで協調性のある雰囲気を感じます。毎年、皆さんと共有する時間をエンジョイしていますが、2015年に行った武蔵野のウインドアンサンブルと、2017年「新キャンパス竣工記念特別演奏会」での福井直昭学長との共演は特にエキサイティングでした。

Profile

1982年ユーゴスラビアのノヴィサッド音楽院で、史上最高得点でのディプロマを取得、1985年ショパン国際ピアノ・コンクールでの演奏はショパン・ソサエティより最優秀ソナタ特別賞を授与。世界中から熱狂的な支持を受け続けている。



芸術作品を理解するために自らの見聞を広める

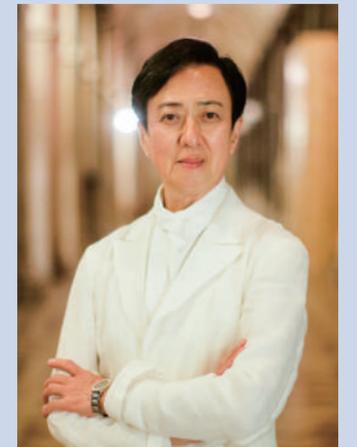
Tamasaburo Bando

坂東 玉三郎 (歌舞伎役者)
武蔵野音楽大学特別招聘教授

素晴らしい音楽家や彫刻家、画家などは、宇宙からの波のさなかに生まれた人だと思います。そして、彼らが心のままに、或いは夢中で作ったものは、自然の美によく似ており、また人生の苦しさ、生きていることへの矛盾や疑問から出てきているものだと思います。そういった芸術作品を皆さんが理解するためには、自らの見聞を広めるということに尽きるのではないのでしょうか。

Profile

歌舞伎界を代表する立女形。1964年6月十四代目守田勘弥の養子となり、歌舞伎座「心中刃は氷の朔日」のおたまほかで五代目坂東玉三郎を襲名。歌舞伎の枠を超えて国際的にも活躍。重要無形文化財保持者(人間国宝)他、受賞歴多数。



刺激的な武蔵野の学生との共演

Christopher Martin

クリストファー・マーティン (トランペット)
ニューヨーク・フィルハーモニック首席奏者/2018年度ウインドアンサンブルと共演

演奏会や演奏旅行において、武蔵野音楽大学の学生たちと素晴らしい経験ができたことに感謝しています。ウインドアンサンブルでは学生の皆さんが聴衆の心を豊かにする美しいコンサートを披露し、音楽の持つパワーを示してくれました。皆さんの芸術性の高さとプロフェッショナルリズムに深い感銘を受け、私もまた聴衆とともに、彼らから受けた刺激に対して感謝の意を表したいと思っています。

Profile

1997年イーストマン音楽学校を卒業。シカゴ交響楽団首席奏者などを経て、2016年ニューヨーク・フィルハーモニック首席奏者就任。世界的なトランペット奏者として活躍する一方、各国の大学で教鞭をとっている。



教育職員一覽

2022年4月1日現在（五十音順）

法人役員

理事 長……………福井 直敬
理事……………石丸 雅二
古池 好
耕 修二
野村 邦武
福井 直昭
監 事……………岸田 讓
濱田 芳貴

大学役職員

学 長……………福井 直昭
総務部長……………村上 諭
管理部長……………末吉 孝司
経理部長……………林 孝治
図書館長……………重松 聡
楽器ミュージアム館長
……………福井 直昭
学務部長……………高坂 朋聖
演奏部長……………重松 聡

学科長・コース長

演奏学科長……………田代 愼之介
器楽コース長……………田代 愼之介
声楽コース長……………佐藤 美枝子
ヴィルトゥオーソコース長
……………福井 直昭
音楽総合学科長…加藤 徹也
作曲コース長……………野崎 勇喜夫
音楽学コース長……………鷹田 治子
音楽教育コース長…加藤 徹也
アートマネジメントコース長
……………中川 俊宏

特別招聘教授

坂東 玉三郎

外国人教員（長期滞在）

イリヤ・イーティン（ピアノ）
クレメンス・ドル（チェロ）
ヨズア・バルチュ（ドイツ語）
イアン・カメロン・マックミッキング（英語）
フランチェスカ・ミッショ（イタリア語）

ピアノ

教 授 イリヤ・イーティン
小池 ちとせ
高坂 朋聖
コッホ 中村 幸子
塚 康馬
重松 聡
田代 愼之介
永岡 信幸
永田 順子
福井 直昭
特任教授 渡邊 規久雄
准教授 新井 和子
村上 直行
講 師 荒 美帆
石附 恵
石橋 礼子
磯村 叙子
今泉 統子
今川 映美子
岩倉 孔介
岩津 勢伊子
上田 京
ウララ・ササキ
遠藤 裕子
大澤 恵子
大坪 由里
大野 瑞穂
岡 珠世
岡崎 悦子
岡野 壽子
可児 亜理
金子 淳
岸 美奈子
橋高 昌男
栗原 千種
桑原 淑子
小柳 信道
近藤 真豊子
澤田 勝行
清水 弘治
菅野 雅紀
寺井 ミカ
富山 紀美子
野上 剛
羽田野 英子
春原 恵子
福井 敬介
福島 宣江
藤井 隆史
堀内 亮
前原 信子
萬歳 典子
水野 ゆみ
三宅 啓子
森永 美穂子
山城 浩一
山田 彰一

ピアノコラポレイティブアーツ

教 授 小池 ちとせ
特任准教授 佐藤 正浩
講 師 子安 ゆかり
清水 綾
横山 修司

オルガン

講 師 石丸 由佳

チェンバロ

講 師 西山 まりえ

フルート

准教授 高久 進
講 師 一戸 敦
井出 朋子
岩下 智子
梶川 真歩
佐野 悦郎
白尾 隆
高木 綾子
戸田 敦
宮下 英士
柳原 佑介
吉岡 アカリ

オーボエ

教 授 青山 聖樹
講 師 伊藤 量子
北村 貴子

クラリネット

特任教授 山本 正治
講 師 加藤 明久
澤村 康恵
十亀 正司
林 直樹
三倉 麻実

サクソフォーン

准教授 栃尾 克樹
講 師 都築 惇
林田 祐和

ファゴット

教 授 岡崎 耕治
講 師 吉田 將

ホルン

准教授 丸山 勉
講 師 今井 仁志
西條 貴人
須山 芳博
山本 真

トランペット

教 授 佛坂 咲千生
講 師 井上 雄二
岡崎 耕二
久保 義一
田島 勤
橋本 洋

トロンボーン

特任教授 井上 順平
講 師 井口 有里
森田 晃

ユーフォニアム

講 師 岩黒 綾乃
大房 美穂

テューバ

講 師 大塚 哲也
佐藤 潔

打楽器

教 授 中谷 孝哉
吉原 すみれ
講 師 安藤 芳広
岡田 全弘
小川 佳津子
久保 昌一
黒田 英実
高橋 治子

ヴァイオリン

教 授 深山 尚久
特任教授 水野 佐知香
講 師 飯島 多恵
木野 雅之
柴 香苗
鈴木 郁夫
東海 千浪
増田 加寿子
丸山 由里子
安富 洋
山中 光

ヴィオラ

講 師 恵谷 真紀子
渡邊 信一郎

チェロ

教 授 クレメンス・ドル
特任准教授 黄原 亮司
講 師 花崎 薫
三宅 進
山崎 みのり

コントラバス

講 師 高山 智仁

ハーブ

特任教授 井上 久美子

指揮・指揮法

教 授 北原 幸男
特任教授 栗山 文昭
准教授 前田 淳
講 師 大滝 実
片山 みゆき
佐藤 正人
高井 優希
武田 晃
角田 鋼亮
時任 康文
藤井 宏樹
横山 琢哉

声楽

教 授 青山 智英子
小畑 朱実
佐藤 美枝子
佐橋 美起
堀内 康雄
山口 道子
菊池 英美
特任教授 松本 美和子
准教授 谷 友博
森永 朝子
池田 京子
岩永 圭子
大川 典子
加茂下 稔
岸本 力
黒田 彰
河野 めぐみ
小林 晴美
三戸 大久
砂川 涼子
田口 久仁子
田口 宗明
立野 至美
豊嶋 祐壹
樋口 達哉
松原 友
山内 みどり

オペラ

教 授 佐藤 美枝子
特任准教授 岩田 達宗
佐藤 正浩
講 師 島添 亮子
瀧田 亮子
谷川 瑠美

作曲・音楽理論

教 授 野崎 勇喜夫
准教授 佐藤 誠一
講 師 大澤 徹訓
柿沼 唯
木村 真人
佐山 紀彦
立原 勇
成宮 北斗
二宮 玲子

音楽学

教 授 稲田 隆之
鷹田 治子
寺本 まり子
石川 かおり
石川 亮子
浦本 裕子
小倉 多美子
黒川 真理恵
東儀 博昭
永井 玉藻
長岡 英
野川 美穂子
野原 泰子
萩原 里香
福田 弥
藤田 茂
丸山 瑠子
宮崎 晴代
米田 かおり

音楽教育

教 授 加藤 徹也
准教授 森田 恭子
講 師 五十嵐 由和
大槻 秀一
大場 ゆかり
大和田 雄一
菊本 和仁
小松 康裕
近藤 靖子
齋藤 道子
佐藤 典子
佐藤 恩実
鈴木 雅之
土野 研治
中村 准子
長谷川 恭子
平田 亜矢
峯村 恒平
山内 雅子
山崎 正彦

箏

講 師 杉浦 聡

アートマネジメント

教 授 中川 俊宏
准教授 上村 英郷
講 師 赤木 舞
阿部 さとみ
稲田 奈緒美
欠田 芳恵
金子 建志
久保 仁志
熊澤 弘
酒井 美恵
西田 俊郎
松永 路
守重 信郎
安田 寿之
脇谷 真弓
渡邊 邦男

ソルフェージュ

准教授 高谷 典子
講 師 泉 炎
伊東 光介
小川 実佐枝
岸 美奈子
齋藤 圭子
嶋田 英里
高田 幸子
館岡 真澄
仲村 亜寿実
早川 聡美

教養科目

教 授 高坂 朋聖
中川 俊宏
中田 淳子
武藤 康史
准教授 上村 英郷
講 師 市川 佳功
内野 博子
大場 ゆかり
片山 幹生
加藤 雄一
熊澤 弘
込宮 麻紀子
敷浪 のぞみ
積田 勝
中江 花菜
星野 友則
村山 貴子
山澤 成康

外国語科目

教 授 中田 淳子（英語）
准教授 ヨズア・バルチュ（ドイツ語）
講 師 京藤 好男（イタリア語）
國府方 麗夏（英語）
塚 和男（英語）
塩野 衛子（フランス語）
篠原 洋治（フランス語）
高田 和広（イタリア語）
中野 有希子（ドイツ語）
萩原 里香（イタリア語）
原田 知子（英語）
イアン・カメロン・マックミッキング（英語）
フランチェスカ・ミッショ（イタリア語）

体育科目

講 師 富樫 絵理子
堀池 薫子



大学院・別科

大学院音楽研究科

大学院では、充実した教員組織と施設、設備のもとで、理論と応用、演奏と創作芸術を研究し、音楽芸術を深く究めます。国際的にも通用する優れた演奏家、研究者、教育者を社会に送り出しています。

■ 博士前期課程（修士課程）

修士課程では、それぞれの専攻する分野において、より高いレベルの技術・能力の修得を目指し、レッスン、研究に取り組みます。伴奏を含むアンサンブル技術、楽曲や資料等の分析能力等においても、学士課程での学びをベースに高度な専門性を追究します。修了者は、プロの演奏家や研究者、教育者として活躍しています。

なお、ヴィルトゥオーゾコースを含む器楽専攻（ピアノ）の学生で、修了時に最優秀の成績を修めた者には、日本の音楽界に多大な貢献を果たした故レオニード・クロイツァー教授の功績を記念して制定された「クロイツァー賞」が授与されます。

博士前期課程（修士課程）	学位	学位審査	
器楽専攻	器楽コース（有鍵楽器・管楽器・打楽器・弦楽器）	<ul style="list-style-type: none"> ●所定の授業科目30単位以上を修得 ●専攻実技の修了試験、修士論文の審査 ※ただしヴィルトゥオーゾコースは修士論文を課さない。 	
	ヴィルトゥオーゾコース（有鍵楽器・管楽器・打楽器・弦楽器）		修士（音楽）
	ピアノコラボレイティヴアーツコース		修士（音楽）
声楽専攻	声楽コース		修士（音楽）
	ヴィルトゥオーゾコース（声楽）		修士（音楽）
作曲専攻			修士（音楽）
音楽学専攻		修士（音楽学）	
音楽教育専攻		修士（音楽）	

入学定員：65名 標準修業年限：2年 ただし4年間の在学研究が可能。また通算して3年間の範囲で留学等による休学が認められる。

ピアノコラボレイティヴアーツコース

ピアノコラボレイティヴアーツとは、単なる伴奏ではなく、共演する声楽家、器楽奏者、あるいは弦楽四重奏や合唱団などのアンサンブルと、ともに音楽を創り出していくアーティスト、すなわちコラボレイティヴピアニストを養成するコースです。経験豊かな講師陣が器楽・声楽・オペラとそれぞれの得意分野を体系的、実践的に幅広く指導し、その成果を江古田キャンパスのモーツァルトホールで定期的に発表して舞台経験を積み重ねていきます。

■ 博士後期課程

器楽および声楽の研究領域では毎年リサイタル形式の公開演奏試験があり、作曲の研究領域では毎年公開の作品演奏試験があります。学位を取得した者は、その高度な知識と専門性を活かして、演奏、創作、研究、教育など、さまざまな分野で自立した活動をするチャンスが開かれます。

博士後期課程	学位	学位審査	
音楽専攻	器楽研究領域	博士（音楽）	<ul style="list-style-type: none"> ●所定の授業科目10単位以上を修得 ●研究領域ごとに定められている学位審査
	声楽研究領域	博士（音楽）	
	作曲研究領域	博士（音楽）	
	音楽学研究領域	博士（音楽学）	
	音楽教育研究領域	博士（音楽）	

入学定員：10名 標準修業年限：3年 ただし5年間の在学研究が可能。さらに3年間の範囲で留学等による休学が認められる。

別科

別科は、音楽を志す幅広い年齢層を対象に、音楽の技術および知識のレベルアップを図ることを目的としています。実技科目である週1回の個人レッスンと、学科科目である「西洋音楽史Ⅰ」「西洋音楽史Ⅱ」「音楽理論Ⅰ」「音楽理論Ⅱ」を受講することができます。1年間で実技科目と2科目以上の学科目を履修し、それぞれ2/3以上を出席したうえで、実技科目の修了審査に合格した者に修了証書を授与します。

別科生は在学中、武蔵野音楽大学の学生としてサポートが受けられます。

別科

器楽コース	有鍵楽器・管楽器・打楽器・弦楽器
声楽コース	
作曲コース	
指揮コース	

入学定員：80名 修業年限：1年 対象：高等学校卒業業同等以上
※詳細は別科入学試験要項でご確認ください。

MUSASHINO

ACADEMIA MUSICAE

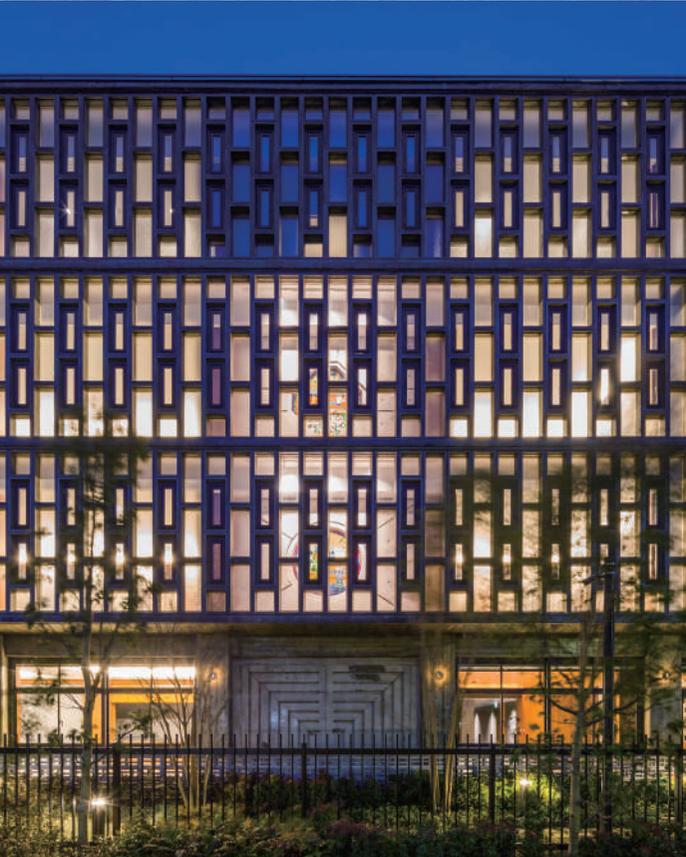
音と過ごす学生生活

武蔵野音楽大学



CAMPUS LIFE BOOK 2023





ANNUAL EVENTS

年間行事



入学式



オペラ選抜クラス試演会



ニュー・ストリーム・コンサート

- 4 April
- 入学式
 - 新入生歓迎行事
 - ガイダンス
 - オリエンテーション
 - 音楽学部卒業生新人演奏会
 - 大学院修士課程在学学生コンサート

- 5 May
- おたまじゃくしコンサート
 - 大学院修士課程修了生新人演奏会
 - 管弦楽団ソリスト選抜オーディション (ピアノ・管打弦)
 - スポーツフェスティバル

- 6 June
- ニュー・ストリーム・コンサート

- 7 July
- 前期実技試験
 - グループコンサート
 - ウィンドアンサンブル演奏会・演奏旅行
 - セタフェスティバル

- 8 August
- 前期クラス授業科目試験
 - 夏期休暇

- 9 September
- 管弦楽団演奏会・演奏旅行
 - ミューズフェスティバル準備合宿
 - 選抜学生コンサート



- 10 October
- ミューズフェスティバル

- 11 November
- オペラ選抜クラス試演会
 - ニュー・ストリーム・コンサート

- 12 December
- 管弦楽団演奏会
 - 室内合唱団演奏会
 - ウィンドアンサンブル演奏会
 - 年度末実技試験
 - クリスマスフェスティバル
 - 冬期休暇

- 1 January
- 授業研究発表
 - 後期クラス授業科目試験
 - 年度末実技試験

- 2 February
- 年度末実技試験
 - 卒業演奏会選抜オーディション

- 3 March
- 次年度授業履修者選抜オーディション
 - 卒業演奏会
 - 卒業式
 - 卒業謝恩パーティー



ミューズフェスティバル



クリスマスフェスティバル



卒業式

クラブ & サークル

授業、練習、勉強と忙しい中でも、クラブ・サークル活動を通じた友人たちとの交流がキャンパスライフを一層充実させます。

多くのクラブ・サークルはミューズフェスティバルで、日頃の活動の成果を発表しています。



ジャズ研究部



華道部

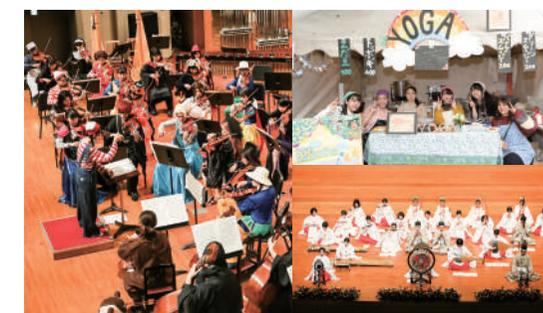


邦楽部

ヴォーカルアンサンブル部/オペラ研究部/合唱研究部/華道部/サイクリング部/サッカー部/茶道部/写真部/ジャズ研究部/宗教音楽研究部/スキー部/ドイツ音楽・文化研究部/バドミントン部/舞踊研究(ダンス)部/邦楽部/ミュージカル研究部/ミュージックセラピー研究部/リコーダーアンサンブル部/ワンダーフォーゲル部/ESS同好会/ヨガ同好会/ロシア歌曲研究同好会/マーチングサークル/けん玉愛好会

▶ Muse Festival ミューズフェスティバル (学園祭)

ミューズフェスティバルは年間最大の学生主催イベントで、華やかに開催されます。日頃の研究成果の発表の機会として、毎年多数の学生演奏団体が出演するほか、本学管弦楽団・フルートオーケストラ・招待演奏など、質も高く内容の濃い演奏が行われます。また、クラブ団体、各楽器会による展示(クラブ活動発表等)や模擬店、そして学生たちが制作した装飾が音楽祭としての雰囲気を盛り上げています。学生が企画、運営するこのミューズフェスティバルは、大学生活におけるかけがえのない経験となるイベントです。



PICK UP

CAMPUS LIFE

武蔵野音大生の生活に密着

[演奏学科編]

 Asuka Kishi 【ピアノ】 岸 明日香	 Naoki Hamakake 【トランペット】 濱欠 直毅	 Kazumi Kawano 【声楽】 河野 和美	 Suzume Nakano 【ヴァイオリン】 中野 鈴音
--	--	---	--



01 登校

毎朝同じ時間に登校し、授業の合間に練習。練習室の予約はWebからもできるので時間が有効活用できます。



02 レッスン

憧れの専攻実技の先生は、私の演奏も尊重しつつ、実演も交えて密度の濃いレッスンをしてくださいませ。



03 演奏部窓口にて

演奏会のチケットをゲット！大学主催の演奏会・講座は無料なので、なるべくたくさん聴きに行くようにしています。



04 昼食

キャンパスレストラン「Intermezzo」でランチ！日替わりメニューに季節限定メニュー…どれにしようかな。



05 室内楽

学内でさまざまなアンサンブルが組めるのも音大ならではの、ソロだけでは味わえない仲間と作り上げる楽しさがあります。



06 教職教養講座

教育実習に向けて講座を受講。進路に沿ってさまざまな講座や説明会が開講されているので、スキルアップにつながります。



07 ウィンドアンサンブル

指導者はアメリカ人なので、授業は英語で行われます。学外ホールでの本番に向けて、心をひとつに武蔵野サウンドを作り上げます。



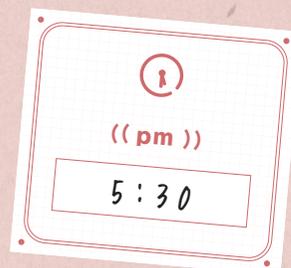
08 演奏会リハーサル

演奏会に向けてモーツァルトホールでリハーサル。響きの確認を入念に。



09 定期演奏会出演

世界で活躍されるソリストの先輩方との共演は練習時から刺激的。演奏会でしか得られないことも多く、貴重な経験です。



10 クリスマスフェスティバル

授業、練習、勉強と忙しい日々ですが、イベント準備を通しての仲間との出会いや経験はかけがえのない財産です。



11 演奏会

先生、家族、友人、お客様…支えてくださる全ての方に届くよう、心をこめて演奏します。

PICK UP

CAMPUS LIFE

武蔵野音大生の生活に密着

[音楽総合学科編]



【作曲】
遠藤 伊織



【アートマネジメント】
上田 悠



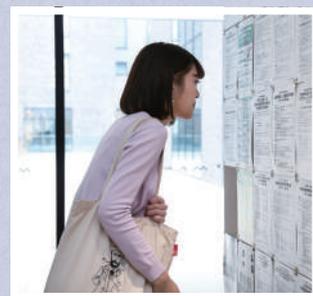
05 友だちとのお喋りタイム

どんなに忙しくても、友だちとのお喋りは欠かせません！晴れた日はリストプラザでひなたぼっこ。風が抜けてとても心地よいです。



06 楽器管理室にて

楽曲制作をするために、楽器の仕組みを理解することも大切。どんな種類の楽器があるのか、楽器管理室でリサーチ！



01 就職関係講座をチェック

学内でさまざまな業種の説明会が行われているので、情報を欠かさずチェック！実際にそこで働く方の話が聞けるのは勉強になります。



02 レッスン

マンツーマンで、丁寧に指導していただけます。先生のアドバイスで魔法のように良い作品になるので、とても刺激的です。



07 作曲作業

レコーディング曲とキーボードで弾いたメロディを合わせて1つの作品を作ります。編集作業は楽しく夢中で取り組んでいます。



08 アートマネジメント実習

さまざまな学外実習を経験できるのも魅力のひとつ！ホールだけでなく、工房や博物館などさまざまな場所で知識を身につけることができます。



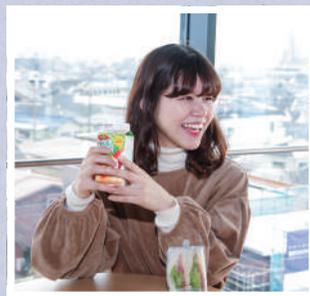
09 オフィスアワー

楽曲制作に行き詰まった時には、オフィスアワーを利用して研究室へ。資料を読んだり、先生と話すことで解決策が見えてきます。



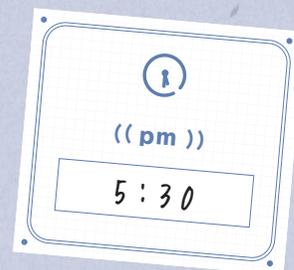
03 劇場音響概論

録音や編集作業など、実際に機材に触れられるスタジオワークは、とても楽しいです。作品を作り上げていく達成感を得られます。



04 昼食

展望ラウンジ“Bis”で景色を眺めながら昼食。東京スカイツリー、富士山を望む一大パノラマを楽しみながら過ごす癒しの時間です。



10 学生会イベント

学生会イベントで、照明を担当することに。カッコイイ演出になるよう、実習の成果を活かしてイベントを盛り上げるぞ！



11 作品発表に向けて

作品が音になる瞬間は嬉しいですが、イメージを伝えるのは難しいです。演奏者との関わりを学ぶことができ、良い経験になります。

私が武蔵野音楽大学を選んだ理由



山本 樹里
演奏学科
ヴィルトゥオーゾコース
ピアノ専攻
群馬県立高崎高等学校通信制出身

武蔵野音楽大学の魅力

私が武蔵野音楽大学を志望した理由は、充実した施設と温かな校風にあります。ホールやレッスン室はもちろん、化粧室は全て美しく、教職員の方々は常に親身に見守ってくださいます。入学試験当日も、とても温かく対応していただき、安心して受験することができました。また現在習っている先生からの強い薦めと、今後も習いたいという気持ちで志望させていただきました。



武久 日向子
演奏学科
器楽コース
オーボエ専攻
徳島市立高等学校出身

徹底して音楽ができる環境で 質の良い学びを

周囲に本学の卒業生が多く、幼い頃から憧れを抱いていました。本格的に音楽を究めたいと考え始めた時にその思いが強くなり、本学を志望することに決めました。高校が普通科だったので、音楽を志すたくさんの仲間と切磋琢磨し音楽に明け暮れる日々はとても刺激的で、ハイレベルな授業やレッスンを通して、毎日少しずつですが着実な進歩を実感できるのは幸せなことだと感じています。

[A4 本誌 p64 に戻ります](#)



高橋 まりあ
演奏学科
器楽コース
コントラバス専攻
神奈川県立藤沢総合高等学校出身

4年間という一時を過ごすための選択

まず、高校1年生の時にコンクールに出て、そこで先生と出会い、更に舞台の上での“感覚”を知ったのが『音楽』を究めようと思ったきっかけです。そして今、私の“個”や“音楽性”を尊重してくださり、且つ真摯に向き合ってくれる先生方との時間が今の私を作っています。ここは、いかに自ら吸収しようとするか、どう考え動かかを日々学ぶことができます。そして音楽性も人間性も大きく成長できる、そんな大切な場所です。



高岡 愛実
音楽総合学科
音楽学コース
富山県立富山中都高等学校出身

より深く音楽を学ぶために

中学時代に音楽関連の本を読むうちに「音楽学」という分野を知り、高校生で本格的に目指すことを決意しました。武蔵野音楽大学を選んだ理由は、当時師事していた先生の出身校で親近感があったことや充実した設備に惹かれたためです。おいしいキャンパスレストランや学生なら無料で入れる演奏会も多くあり、音楽を学ぶ場としても学生生活を送る場としてもよい大学だと思います。

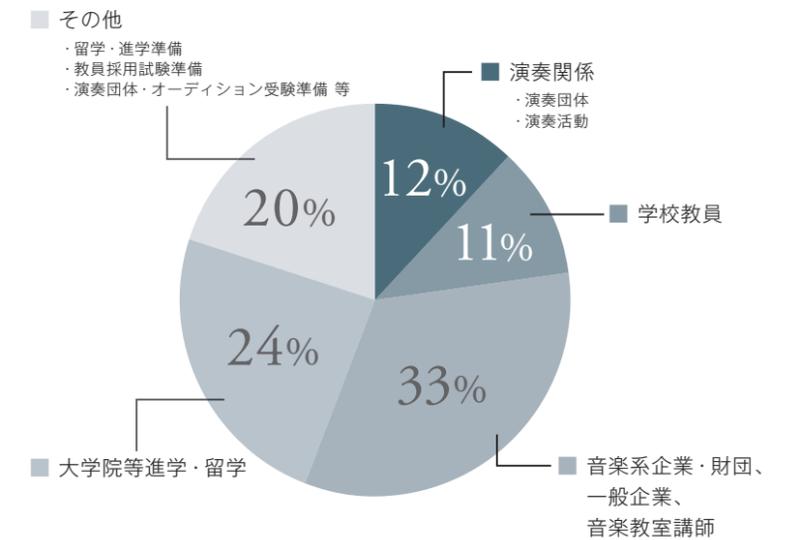


進路状況

2020年度実績

かつての音楽大学生の就職先は、オーケストラや合唱などの演奏団体、教員関係や音楽教室講師などが主なものでした。しかし、最近ではアートマネジメントなど音楽関連マーケットが拡がり、さまざまな分野の企業が音楽の素養を持つ人材を求めており、本学でも卒業生の活躍するフィールドが大きく広がっています。

また、卒業後にさらなる研鑽を積むため、大学院進学、留学、研修員、研究生などを希望し、演奏家を目指す学生も相当数にのぼります。



別冊のデータが入ります

・近年の主な就職先

演奏団体: ジュール・フィルハーモニー管弦楽団(ハンガリー)/チェコ国立ブルノ・フィルハーモニー管弦楽団(チェコ共和国)/ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団(オランダ)/ウィーン・フォルクスオーバー(オーストリア)/ピアチェンツァ歌劇場合唱団(イタリア)/フィンランド国立歌劇場合唱団(フィンランド)/ミラノ・スカラ座合唱団(イタリア)/プフォルツハイム歌劇場(ドイツ)/リリック・オペラ・オブ・シカゴ(アメリカ)/NHK交響楽団/大阪交響楽団/神奈川フィルハーモニー管弦楽団/九州交響楽団/群馬交響楽団/新日本フィルハーモニー交響楽団/セントラル愛知交響楽団/東京交響楽団/東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団/日本フィルハーモニー交響楽団/山形交響楽団/東京佼成ウインドオーケストラ/フォレスト/新国立劇場合唱団/東京混声合唱団/陸・海・空自衛隊音楽隊/埼玉県警察音楽隊/千葉県警察音楽隊/名古屋市消防音楽隊/横浜市消防音楽隊/Kバレエカンパニー(ピアノ伴奏) 他

教員関係: 帝京科学大学/有明教育芸術短期大学/白梅学園大学短期大学/神田女学園中学校高等学校/芝浦工業大学附属中学高等学校/千葉英和高等学校/鎮西学院高等学校/土佐女子中学高等学校/新島学園中学校・高等学校/日本音楽高等学校/日本工業大学駒場高等学校/花咲徳栄高等学校/明秀学園日立高等学校/八千代松陰中学校・高等学校/山村国際高等学校/捜真小学校/星野学園小学校 他公立・私立学校教員採用者多数

音楽系企業: オフィス新音/KAJIMOTO/河合楽器製作所/K国際コンクール/劇団四季/島村楽器/スガナミ楽器/特定ラジオマイク運用調整機構/ハーモニージャパン/ハンナ/ホットガクフ/宮地楽器/村松楽器販売/山野楽器/ヤマハミュージックリテイリング 他

音楽系財団: 市川市文化振興財団(市川市文化会館)/所沢市文化振興事業団(所沢市民文化センター ミューズ)/とちぎ未来づくり財団/練馬区文化振興協会(練馬文化センター)/武蔵野文化事業団(武蔵野市民文化会館) 他

音楽教室講師: アミーズ音楽教室/エークラスミュージック/音楽工房ピアスタ/カワイ音楽教室/小林音楽教室/サクライ楽器/島村楽器/広野音楽教室/マツノ楽器/宮地商会/山野楽器/ヤマハ音楽教室 他楽器店

一般企業: 青森銀行/秋田県仙北市役所/アニエスベージャパン/イオン銀行/エコテック/NTTデータエマーズ/オリエンタルランド/きらぼし銀行/ゴディバジャパン/埼玉医科大学病院/佐久ケーブルテレビ/静岡朝日テレビ/スターバックスコーヒージャパン/住友生命保険/住友不動産販売/セイコーエプソン/セゾン保険サービス/仙台銀行/セントラル警備保障/全日本空輸(ANA)/Zoff/第一生命保険/大日本住友製薬/東京セキスイハイム/TRUNK HOTEL/トヨタモビリティ東京/日本生命保険/日本郵便/東日本旅客鉄道(JR東日本)/富国生命保険/ほけんの窓口グループ/ホテル日航つくば/みずほフィナンシャルグループ/三井住友銀行/三井物産/三越伊勢丹ホールディングス/室蘭民報社/明治安田生命保険/USEN-NEXT GROUP/LIXILトータル販売/WOWOW/ワコールホールディングス 他

・近年の主な留学先

- ・アムステルダム音楽院(オランダ)
- ・イモラ国際ピアノアカデミー(イタリア)
- ・ウィーン国立音楽大学(オーストリア)
- ・エコールノルマル音楽院(フランス)
- ・ケルン音楽舞踊大学(ドイツ)
- ・シュトゥットガルト音楽演劇大学大学院(ドイツ)
- ・ジュリアード音楽院(アメリカ)
- ・スコラ・カントルム(フランス)
- ・ハンス・アイスラー音楽大学(ドイツ)
- ・ハンブルク音楽演劇大学(ドイツ)
- ・ブラハ芸術アカデミー(チェコ共和国)
- ・ブリュッセル王立音楽院(ベルギー)
- ・ベルリン芸術大学(ドイツ)
- ・ボストン音楽院(アメリカ)
- ・マーストリヒト音楽院(オランダ)
- ・マンハイム国立音楽舞台芸術大学(ドイツ)
- ・ミラノ音楽院(イタリア)

他





夢に向かってはばたく卒業生



東京都教員採用試験合格

恵まれた環境での学びや経験を力に 生徒とともに成長し続ける教員へ

大学では専攻に限らず、専攻以外の楽器や声楽、指揮、ミュージカルや雅楽などを積極的に履修することで音楽を幅広く学ぶことができ、とても充実していました。これからは、大学で学んだことや経験したことを活かして、生徒とともに成長しながら、音楽の楽しさや素晴らしさを伝えていきたいと思ひます。

元紺谷 みやび
2022年卒 音楽教育（東京都立富士高等学校出身）



株式会社ワコールホールディングス

“大学での多くの学び”と “何にでも挑戦すること”で広がる世界

私の「人間形成」を培った大学生活では、専攻にとらわれず多岐にわたり音楽を学び、音楽を通して人とのつながりや喜びも得ることができました。また、学校外ではイベントのアシスタント業務等を行い、一人ひとりの特別な時をサポートしてきました。今後は大学生時代の経験を活かし、多くの人を輝かせられるよう努めてまいります。

宮内 亜未
2022年卒 声楽（清泉女学院高等学校出身）



学校法人 聖書学園
千葉英和高等学校

人とつながり 人に教えることの尊さを学ぶ

武蔵野では、音楽を通してさまざまな人との縁をいただき、また人から教わる楽しさと同時に、人に教えることの尊さを学ぶことができました。卒業後は、時代の流れに左右されない音楽の素晴らしさ・楽しさ、そしてそれを学ぶことの意味・価値を子供達に伝えるファシリテーターとしての役割を担ってまいります。

新井 珠丹
2022年卒 ピアノ（上野学園高等学校音楽科出身）



日本フィルハーモニー交響楽団
コントラバス奏者

充実した大学生活が 演奏家としての大きな力に

大学では素晴らしい先生方や仲間たちとの出会いがあり、演奏会形式の試験や合奏授業の本番など、とても充実した日々でした。4年次にはウィンドアンサンブルでのアメリカ演奏旅行の機会にも恵まれ、言語を超える音楽の力を実感しました。大学で学んだことや得られた経験は、今の自分の大きな力となっています。

山口 雅之
2019年卒 コントラバス（長崎県立長崎西高等学校出身）



航空自衛隊
音楽隊ファゴット奏者

たくさんの先生方や仲間に支えられて 音楽を仕事にする

オーケストラや吹奏楽の授業では合奏における技術を指揮者の先生だけではなく、実際にオーケストラでご活躍されている先生から直接アドバイスをしていただけました。室内楽などでは専攻や学年を超えて幅広いジャンルの音楽を学び、たくさん本番による経験を積んだうえで将来に向かって進むことができました。

内田 爽太
2022年卒 ファゴット（神奈川県立港北高等学校出身）



島村楽器株式会社
インストラクター職

武蔵野音楽大学だからこそできた かけがえのない経験と人との出会い

大学で教職の勉強をしていくうちに、人に教えることへの興味も強くなり、将来の道を決めました。また、専攻楽器に限らずともに学び合える仲間や多くの先生方と出会い、とても恵まれた環境の中で学生生活を送ることができました。これからも人とのつながりを大切に、大好きな音楽と一緒に頑張りたいと思ひます。

小西 真奈
2022年卒 ピアノ（北星学園女子高等学校出身）



フランクフルト音楽・舞台芸術大学院ピアノ室内楽科 在学中
ドイツ国立カールスルーエ音楽大学国家演奏家資格取得

留学に活かされた武蔵野での学びや経験 ピアニストとしてさらなる飛躍を目指す

大学時代は海外からの客員教授をはじめ、多くの先生から親身にご指導いただき、ひたすらピアノに打ち込む日々。コンサート出演の機会にも恵まれ、レパトリーを拡げることができた経験は、その後の留学で大いに役立ちました。さらにピアニストとして、人として、精進していきたいと思ひます。

木林 理絵
2012年卒 ピアノ（京都市立音楽高等学校[現 京都市立京都堀川音楽高等学校]出身）



陸上自衛隊東部方面音楽隊
二等陸尉

幅広く学べる武蔵野だからこそ選べた 指揮者という道

在学中は自分の専攻に限らず、室内楽や指揮などの授業を積極的に履修し音楽を広く学ぶことにより、将来の選択肢が広がりました。指揮要員となる一般幹部候補生音楽要員の受験に踏み切ることができたのも、さまざまな科目を履修できる武蔵野音楽大学で学んだからこそだと感じています。

持丸 周子
2016年卒 オーボエ（佐賀学園高等学校出身）



進路サポート

本学では「学生・就職課」にて、学生生活全般のサポートおよび進路や就職に関する支援を行っており、担当職員に常時相談できる体制を整えています。キャリアコンサルタントの国家資格を持つ職員もおり、担当教員と協力して、就職・進学・留学等の進路サポートを行っています。一人ひとりの個性や長所を把握しながら進路サポートを行えるよう、毎年、大学1、2年次生に対しては学生生活に関すること、大学3、4年次生に対しては将来の進路に関する確認を目的とした全学生への個人面談を実施しています。さらに、卒業後のそれぞれの進路に向けて指導プログラムを行い、具体的かつ実践的なアドバイスを重ねながら学生個々のスキルアップを目指しています。

■ 進路指導プログラム

	各年次ごとの実施事項	全学年共通
1年次	<input type="checkbox"/> 教員免許課程履修ガイダンス	<input type="checkbox"/> 就職・進路相談 <input type="checkbox"/> 就職支援セミナー * 適性検査 * 筆記試験 * 個人・集団面接 * グループディスカッションなど <input type="checkbox"/> 公立学校教員採用試験対策 * 特別講座(教職教養・音楽専門教養・論文・実技) * 学内模擬試験 * 二次試験対策講座 <input type="checkbox"/> 業種別ガイダンス (教員/音楽系含む一般企業/音楽教室講師) <input type="checkbox"/> 個別支援 * 進路相談 * 添削指導(履歴書/エントリーシート/論文) * 面接指導(集団面接/個人面接)
2年次	<input type="checkbox"/> 教員免許課程履修ガイダンス	
3年次	<input type="checkbox"/> 各種募集説明会(1、2年次も参加可) * 自衛隊・警察音楽隊 * 音楽関係(研修生等含む) ヤマハ音楽振興会/島村楽器/桐朋オーケストラアカデミー/二期会/日本オペラ振興会 * 一般企業など <input type="checkbox"/> 進路確認個人面談(対象:全学生) ~進路希望確認~	
4年次	<input type="checkbox"/> 各種募集説明会(1、2年次も参加可) * 自衛隊・警察音楽隊 * 音楽関係(研修生等含む) ヤマハ音楽振興会/島村楽器/桐朋オーケストラアカデミー/二期会/日本オペラ振興会 * 一般企業など <input type="checkbox"/> 進路確認個人面談(対象:全学生) ~具体的進路のアドバイス~	



キャリア支援

就職支援セミナー

主に、一般企業への就職を希望する学生を対象に、毎年、後期に就職支援セミナーを実施しています。「就活概論・適性診断」「就活の流れ」「筆記試験」「エントリーシート・履歴書の書き方」「面接(個人・集団)のポイント」「グループディスカッション」等をテーマにしており、中でも、筆記試験や面接、グループディスカッションでは実践を交えた対策を実施しています。このセミナーは、就職活動の疑問や不安の解消にも役立ちます。



業種別ガイダンス

毎年、学校教員や企業等へ内定した4年次生を招いて、パネルディスカッションを実施しています。業種を「一般企業(音楽系企業を含む)」「音楽教室講師」「教員(公立・私立)」に分け、先輩から後輩に向けた就職活動に関する体験談やアドバイス等、具体的な話を聞く絶好の機会となっています。

各種募集説明会

一般企業や音楽隊(自衛隊・警察)、音楽教室講師などの、卒業後の就職に直接関わる内容の説明会や、桐朋オーケストラアカデミー、二期会、日本オペラ振興会のようにキャリアアップを目的とする進路選択のための説明会を、各企業や団体の方々をお招きして実施しています。既に各企業・団体等に勤務または所属する卒業生にも加わっていただくことで、参加者は卒業後をイメージしながら在学時の学業と就職活動をどのように両立したかなど、さまざまな体験談を聞くことができます。

教員と音楽教室講師を目指す人のための特別講座

公立学校教員採用試験を受験する方々を対象に、「教職教養講座」「音楽専門教養講座」「論文講座」「実技講座」を開講しています。
 ・「教職教養講座」…教育に関する法律・学習指導要領・教育理論・教育時事の領域について解答演習を行います。
 ・「音楽専門教養講座」…大学で学ぶ専門知識のみならず、中・高音楽の教科書から出題される事項について学びます。
 ・「論文講座」…各都道府県の教員採用試験で実施される論文記述試験で求められる基本的な記述力を身につけ、最近の出題傾向から重要な教育課題の背景や問題解決の具体方策の理解を深めます。
 ・「実技講座」…コードネームを用いた弾き歌い・伴奏付け・新曲視唱・初見演奏等の能力を身につけます。本講座は、音楽教室講師を目指す方も対象としています。

進路確認個人面談

毎年、大学3・4年次生全員を対象に、卒業後の進路確認について個人面談を実施しています。皆さんの将来の希望・目標を伺い、さまざまな情報を提供します。また、悩みがあれば解決策と一緒に考えるなど、学生に寄り添ったサポートを目指しています。



教員採用二次試験対策講座

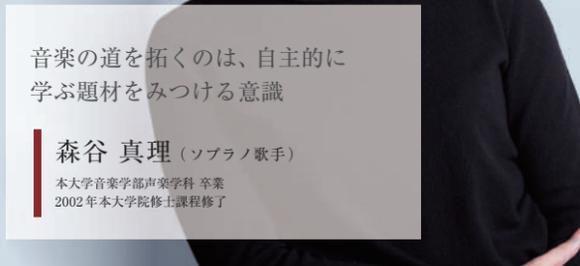
毎年、教員採用一次試験合格者を対象に、二次試験に向けた対策講座を開講しています。論文の書き方や模擬授業、面接練習、実技など、実践的できめ細やかな指導が行われており、これまで多大な実績を残しています。

個別相談・指導

就職課では全学年を対象に、随時、個別相談を受け付けています。個別相談では、まず、皆さんが希望している将来像をじっくりと聞き、それに沿って一緒にキャリア目標を立てていきますが、可能性が広がるようにいくつかの選択肢を提案することもあります。また、履歴書・エントリーシートの添削や面接練習など、実践的な指導も行っています。

卒業生の活躍

GURADUATE SUCCESS



音楽の道を拓くのは、自主的に学ぶ題材を見つける意識

森谷 真理 (ソプラノ歌手)

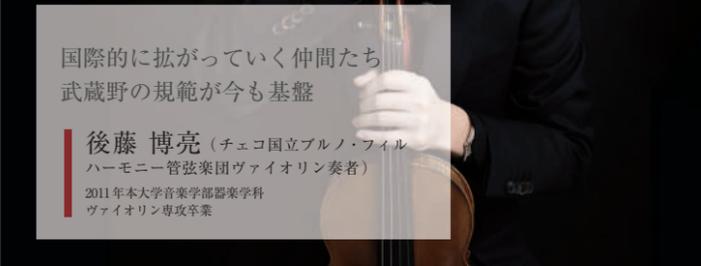
本大学音楽学部声楽学科 卒業
2002年本大学院修士課程修了



オーケストラ奏者として、さらに良い音楽を追究していく

黒田 英実 (NHK交響楽団打楽器奏者)

本大学音楽学部器楽学科 打楽器専攻卒業
2010年本大学院修士課程修了



国際的に広がっていく仲間たち
武蔵野の規範が今も基盤

後藤 博亮 (チェコ国立ブルノ・フィルハーモニー管弦楽団ヴァイオリン奏者)

2011年本大学音楽学部器楽学科
ヴァイオリン専攻卒業



2年間のニューヨーク留学を経てプロデビューし、リンツ州立劇場の専属歌手として、オーストリアに移住しました。在学中、平良栄一先生、高柳和子先生、オペラコースの先生のもと、自由に学ぶ環境で培われた自主的に学ぶ意識が、今は一番役立っています。今後もチャレンジを続け、世の中の平和に少しでも役立てればと思います。皆さんも自分の可能性に制限をつけず、前へ前へと進んで欲しいですね。

Profile

武蔵野音楽大学卒業、同大学院修了。2006年ニューヨークメトロポリタン歌劇場オペラ「魔笛」夜の女王役でデビュー。国内外主要歌劇場のオペラで幅広く活躍し、2019年の天皇陛下御即位をお祝する国民祭典では国歌独唱を披露。令和元年度下總統一音楽賞音楽文化発信部門受賞など受賞歴多数。

武蔵野音楽大学で素晴らしい先生方に巡り会えたことが、私の大きな財産だと思っています。日々の練習で使用できる楽器も充実しており、求める音に対する想像力を高めていくことができました。念願叶ってプロのオーケストラ奏者になった今、日本を代表するオーケストラの一員として、日々さらに良い音楽を追究し続けていきたいと思っています。

Profile

武蔵野音楽大学卒業、同大学院修了。第25回日本打楽器コンクール第3位・パーカッション部門最高位。ソリストとして日本フィルハーモニー交響楽団と共演。2014年、NHK交響楽団打楽器奏者として入団。2022年度より武蔵野音楽大学講師。

武蔵野音楽大学を卒業後、憧れていた「チェコで音楽を勉強する」という夢を叶え、そして2016年よりチェコ国立ブルノ・フィルハーモニー管弦楽団に入団しました。武蔵野音楽大学で学んだ礼儀、清潔、時間厳守の大切さ、こうした基本が身につければ、世界中のどこにいても良い人間関係が築けると、今、改めて感じています。自分に大きな幸せを与えてくれる音楽を通して出逢った仲間や友人に感謝しながら、これからも常に目標をしっかりと持って歩んでいきたいと思っています。

Profile

武蔵野音楽大学卒業。ブラハ芸術アカデミーを経て2015年チェコ国立ヤナーチェク音楽芸術アカデミー修士課程を修了。博士課程在籍。ボフスラフ・マルティヌー・フィルハーモニー管弦楽団のヴァイオリン奏者を経て、2016年春よりチェコ国立ブルノ・フィルハーモニー管弦楽団の第一ヴァイオリン奏者として入団。2019年2月、同管弦楽団の日本ツアーに参加。2020年、CD「Gen Trio」をチェコ国営放送よりリリース。

Competition Award Winners

主なコンクールの入賞者

(入賞者は五十音順、経歴は2022年2月現在)

- 大竹千寛 (2021年修士修了・ピアノ)
第22回日本ピアノコンクール 銀賞
- 奥秋大樹 (2018年修士修了・声楽)
第90回日本音楽コンクール 声楽部門 (オペラ) 本選会 入選
第19回東京音楽コンクール 声楽部門 第3位
- 小椋陽咲 (2018年大学卒業・ホルン)
山形交響楽団にホルン奏者として入団 (2021年7月)
- 小田実結子 (2018年修士修了・作曲)
東京交響楽団&サントリーホール企画「新曲チャレンジ・プロジェクト〜子どもと若手作曲家による〜」作品募集 入選、サントリーホールで初演
令和3年度奏楽堂日本歌曲コンクール 第27回作曲部門 入選
- 加藤智浩 (2010年大学卒業・ホルン)
東京交響楽団にホルン奏者として入団 (2021年7月)
- 金田直道 (2017年大学卒業・ファゴット)
第36回日本打楽器コンクール ファゴット部門 第2位
- 木田桃華 (大学3年・ヴィオラ)
SAKURA JAPAN MUSIC COMPETITION 2021 ヴィオラ部門 カテゴリー C 第3位 (1位、2位なし)

- 木林理絵 (2014年修士修了・ピアノ)
ブラームス・ピアノ・コンペティション・デトモルト2019 (ドイツ) 第2位、クララ・シューマン賞
- フェリックス・メンデルスゾーン・バルトルディ・コンクール2021 (ベルリン) ピアノトリオ部門 第1位
- 小山功起 (大学4年・フルート)
第2回日本奏楽コンクール 管楽器部門 大学の部 第2位
- 坂井友香 (大学4年・ピアノ)
第11回ジュラ・キシュ国際ピアノコンクール 大学生部門 第3位
- 佐藤佳穂 (大学4年・ピアノ)
SAKURA JAPAN MUSIC COMPETITION 2021 ピアノ部門 全国大会 大学生の部 第3位 (1位なし)
- 佐藤英里 (大学2年・作曲)
令和3年度三条市表彰 (新潟県) 市民栄誉賞
- 佐藤陽十 (修士2年・ピアノ)
第29回彩の国・埼玉ピアノコンクール F部門 銅賞
- 杉浦邦弘 (1987年大学卒業・打楽器)
第31回朝日作曲賞受賞、2022年度全日本吹奏楽コンクール課題曲入選

- 杉村美咲 (2020年大学卒業・フルート)
第15回仙台フルートコンクール 一般部門 第1位
- 高橋七海 (大学4年・ピアノ)
第17回アジア国際音楽コンクール 大学生ピアノ部門 第1位
- 谷口万穂子 (2012年大学卒業・声楽)
2020年第6回ロンドン グランドプライズ ヴィルトゥオーソ国際音楽コンクール (イギリス) シニア部門 第1位
2020年第4回ケベック音楽コンクール国際オンラインコンクール (カナダ) プロフェッショナル・ソロ部門 第1位
- 恒木優花 (大学2年・ピアノ)
2021 CARLES & SOFIA 国際ピアノコンクール (イタリア/オンライン) Emergent (17~21歳) 部門 GOLD HANDS、ベストショパン賞
- 敦賀朝香 (大学2年・打楽器)
第24回「長江杯」国際音楽コンクール 打楽器部門 大学の部 第1位、理事長賞
- 長島有葵乃 (大学4年・声楽)
第41回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール 声楽部門 大学生の部 第1位
- 中村友美 (2021年修士修了・作曲)
令和3年度奏楽堂日本歌曲コンクール 第27回作曲部門 入選
- 野上剛 (2014年修士修了・ピアノ)
第21回九州音楽コンクール ピアノ部門一般クラス グランプリ・出田賞、文部科学大臣賞
- 野村なつき (2017年修士修了・ピアノ)
第21回エウテルペ国際音楽コンクール (イタリア) ピアノ部門 カテゴリーG 第2位
- 林真悠美 (2018年修士修了・声楽)
第1回伊勢志摩国際声楽コンクール 第3位

- 原日向子 (2016年大学卒業・ハーブ)
第33回草加・日本国際ハーブコンクール2021 プロフェッショナル部門 第2位
- 星あゆみ (修士2年・打楽器)
第15回ルーマニア国際音楽コンクール 打楽器部門 第1位、日本ルーマニア音楽協会理事會賞
- 堀之内千紜 (修士2年・ピアノ)
第17回アジア国際音楽コンクール 大学生ピアノ部門 第2位
- 正門研一 (1989年大学卒業・音楽学)
第6回国際行進曲作曲コンクール「Città di Allumiere」(イタリア) コンサート・マーチ部門 第2位
- 松田晏菜 (大学3年・声楽)
第75回全日本学生音楽コンクール 東京大会本選 声楽部門 大学の部 奨励賞
- 森田枝小莉 (2020年修士修了・声楽)
第4回マルゲリータ・グリエルミ声楽コンクール 新進歌手部門 第3位
第73回全日本学生音楽コンクール 全国大会 声楽部門 大学の部 第2位
- 横地ちひろ (博士1年・マリンバ)
中部打楽器協会 第17回新人演奏会 (オーディション形式) 第1位
- 吉原麻実 (2021年修士修了・ピアノ)
第6回水と緑のまち江戸川新進音楽家コンクール ピアノ部門一般の部 第3位、審査員長奨励賞
第3回ラマニフ国際ピアノコンクール JAPAN G部門 第3位、ロシア作品賞
- 依田真理 (1990年大学卒業・ピアノ)
第3回国際モスクワ音楽オンラインコンクール ピアノソロ部門 (46歳から55歳のカテゴリー) 第2位

キャンパス トピックス

コンサート

本学では、多くの舞台経験ができるよう、管弦楽、吹奏楽、合唱の定期演奏会やオペラ公演、選抜学生コンサート、学生による演奏会など、学生自らが日頃の研究成果を発表する演奏会を多数開催しています。

また、著名な内外の演奏家を多く招聘し、第一級の音楽を聴く機会を積極的に提供しています。これらのコンサートや公開講座を、本学学生は無料で聴くことができます。

- ① 管弦楽団合唱団演奏会
- ②⑥ 管弦楽団演奏会
- ③⑭ 音楽学部新人演奏会
- ④ ケマル・ゲキチ ピアノ・リサイタル
- ⑤ ウィンドアンサンブル演奏会
- ⑦⑮ 室内合唱団演奏会
- ⑧⑨⑯ 室内楽演奏会
- ⑩ 坂東玉三郎特別招聘教授による特別講座
- ⑪ オペラ選抜クラス試演会
- ⑫ 管弦楽団演奏会
指揮：ルドルフ・ビールマイヤー 客員教授
- ⑬ ジョルジ・シャラモン クラリネット特別公開レッスン
- ⑯⑳ ニュー・ストリーム・コンサート
～ヴィルトゥオーゾコース演奏会～
- ⑰ イリヤ・イーティン ピアノ・リサイタル
- ⑱ 教員による管楽器アンサンブル演奏会



Campus Topics

キャンパス
トピックス

演奏旅行

本学では、国内外でオーケストラ、ウィンドアンサンブルなどの演奏旅行を行っています。

国内の演奏旅行は、同窓生のサポートを受け毎年全国各地で行っています。また、1977年の第1回ヨーロッパ演奏旅行以来、長年にわたり海外演奏旅行も実施しています。

- ① テリー・オースティン客員教授、リチャード・メイ客員教授、レイ・E. クレーマー名誉教授、クリストファー・マーティン氏(客演ソリスト)、ジェームズ・M.ランブレクト客員教授/ミッドウェスト・クリニック:アメリカ(シカゴ)
- ② ミッドウェスト・クリニック:アメリカ(シカゴ)
- ③ ミッドウェスト・クリニックロビーコンサート:アメリカ(シカゴ)
- ④ セント・チャールズ・イースト高校の生徒との交流会:アメリカ(セント・チャールズ)
- ⑤ セント・チャールズ・イースト高校:アメリカ(セント・チャールズ)
- ⑥ ミッドウェスト・クリニック会場にて:アメリカ(シカゴ)
- ⑦ ヘラクレスザール:ドイツ(ミュンヘン)
- ⑧ リスト音楽院:ハンガリー(ブダペスト)
- ⑨ こまつ芸術劇場うらら:石川県
- ⑩ パイロイト祝祭劇場:ドイツ
- ⑪ ヘラクレスザール:ドイツ(ミュンヘン)
- ⑫ 岡山シンフォニーホール:岡山県
- ⑬ ケルチエイカルチャーセンター:ハンガリー(デブレツェン)
- ⑭ ヨゼフ・ツィルヒ名誉教授:ドイツ(レーゲンスブルク)



学費・奨学金等

初年度学費等納入金

参考：2022年度

学科・コース		学費			後援会費	納入金合計
		入学金	授業料	施設費		
演奏学科	器楽・声楽コース	150,000円	1,390,000円	670,000円	10,000円	2,220,000円
	ヴィルトゥオーソコース	150,000円	1,490,000円	670,000円	10,000円	2,320,000円
音楽総合学科		150,000円	1,360,000円	670,000円	10,000円	2,190,000円

※教育職員免許状や学芸員の資格取得を希望する場合は、上表の他に、各課程の聴講料等が必要となります。

※個人練習楽器を借用する場合には、その借用料を納入する必要があります。

※個人が使用する教材（楽譜、教科書、特殊ソフト等）については、個人負担になります。

※音楽教育コース、アートマネジメントコースでは、ICT（情報通信技術）の活用を推進するため、パソコンの必携化に取り組んでいます。

●2023年度の納入金は、2022年5月発行の「入学者選抜要項」でご確認ください。

福井直秋記念奨学金

2021年度より、本学独自の奨学金制度を大幅に拡充。

「福井直秋記念奨学金」とは、学業、人物ともに優れ、向学心あふれる学生に与えられる、**返還義務の無い**奨学金制度です。新制度では、学修サポート体制をなお一層充実させるため、「年間授業料全額＋施設費全額相当」「年間授業料1／4相当」の給付区分を新設、さらに、新入生、在学生ともに奨学金給付者数を大幅に増員しています。

■ 入学時（音楽学部1年次）対象

種類	対象区分	対象学年	給付額	給付者数
特別給費奨学金 (特待生)	音楽学部	新入学生(1年次)	年間授業料全額相当 (内1名は施設費全額相当も給付)	3名
			年間授業料半額相当	2名
			年間授業料1／4相当	3名
給費奨学金	同上	同上	入学金相当	32名程度
				計40名程度

■ 入学後対象

種類	対象区分	対象学年	給付額(年額)	給付者数
特別給費奨学金 (特待生)	音楽学部	2～4年次	年間授業料全額相当 (内3名は施設費全額相当も給付)	5名
			年間授業料半額相当	3名
			年間授業料1／4相当	9名
給費奨学金	音楽学部	2～4年次	15万円	30名程度
	大学院修士課程	1～2年次	20万円	16名程度
特別成果給費奨学金	音楽的・学術的または社会的な活動において特に顕著な成果をあげた学生	全学年	30万円	若干名
緊急給費奨学金	家計の急変により、学業継続が困難になった学生	全学年	最高20万円	数名
				計70名程度

福井直秋記念奨学金 奨学生のコメント



大槻 佳苗 演奏学科 ヴィルトゥオーソコース オーボエ専攻2年(茨城県立水戸第三高等学校 音楽科 出身)

新入生対象の特別給費奨学金受給生という栄誉にあずかり大変光栄に思っております。武蔵野音楽大学では先生方の厚いサポートのもと、将来を見据えたカリキュラムが組まれているので毎日非常に充実しています。今後もこの栄誉に恥じぬよう、より一層精進していきたいと思っております。

日本学生支援機構奨学金

「日本学生支援機構奨学金」とは、経済的事情により修学が困難な学生に貸与または給付される、国の育英奨学金制度です。この奨学金の目的は、将来社会に貢献する人材育成であり、無利子で貸与される「第一種奨学金」と、有利子で貸与される「第二種奨学金」、および「給付奨学金」があります。なお、「第一種奨学金」「第二種奨学金」を受けた奨学生は、社会人になってから返還する義務があります。

経済的負担を軽減するためのさまざまな特典



クリスチャン・ダルマン客員教授
ホルン特別レッスン

■ 外国人客員教授の

レッスンは無料

多くの客員教授(外国人)が着任し、長期間あるいは短期間のレッスン、講座などを行いますが、これらの受講料はすべて無料です。



管弦楽団演奏会

■ 演奏会、公開講座の

入場料は無料、また、出演・参加費用も無料

学内外の音楽家や学生による演奏会、公開講座などを活発に実施しており、在学生の入場は無料です。また、これらの催しへの学生の出演・参加も無料です。



インコ・ゴリツキ客員教授
オーボエ・リサイタル

■ 各種講座、課外講座の履修、聴講は無料

教職教養講座や各種の就職講座など課外講座受講料も無料です(小額の資料代を徴収する場合があります)。



室内合唱団ハンガリー演奏旅行

■ 演奏旅行への参加は無料

国内外でオーケストラ、ウィンドアンサンブルなどの演奏旅行を実施しますが、学生の出演、参加費用は全額大学が負担します(ただし海外演奏旅行のみ、一部参加者負担)。

■ 副科のレッスンおよびオーディション等による選抜者の授業は無料

副科(例えば声楽、管・打・弦楽器専攻学生のピアノ、ピアノ専攻学生の声楽等)のレッスンはすべて無料です。また、本学では室内楽、伴奏法、指揮等、多くの科目の授業を開講し、オーディション等により履修者を選抜していますが、これらの受講料もすべて無料です。

■ 休学・留年の場合の学費軽減

半年以上休学する場合は、授業料と施設費を減額します。また、履修単位がわずかに不足し、留年、卒業保留となった場合は、不足単位数に応じて授業料を減額します。

■ 授業料等減免(高等教育の修学支援新制度)

2020年4月から国の「高等教育の修学支援新制度」が始まり、本学はこの制度の対象校となりました。日本学生支援機構「給付奨学金」に申請し、採用された学生は入学金および授業料の減免対象となります。

■ 学生保険は大学が負担

本学では全学生が「学生教育研究災害傷害保険(通学中などの傷害危険担保特約)」に加入しますが、加入費用は、大学が負担します。

■ 災害の場合の授業料減額

地震や風水害などの自然災害により自宅に甚大(半壊以上)な被害を受け、公的機関の証明書が提出された場合は、その年度の授業料を一部減額します。

■ 兄弟姉妹が2名以上在籍する場合の入学金相当額免除

同一年度に2名以上の兄弟姉妹が本学園の大学院、大学、附属高等学校、幼稚園に在籍する場合は、その新入生の入学金相当額を免除します。また、兄弟姉妹が同時に入学された場合は、原則として、そのうち1名の入学金相当額を免除します。

■ 外国人留学生学生生活支援金

本学では、学業に精励している外国人留学生全員に対して、年額15万円を支援する制度を設けています。なお、福井直秋記念奨学金を重複して受給できます。

免許・資格

教員免許課程

教員免許課程において必要な単位を修得することで、中学校教諭一種免許状(音楽)と高等学校教諭一種免許状(音楽)を取得することができます。

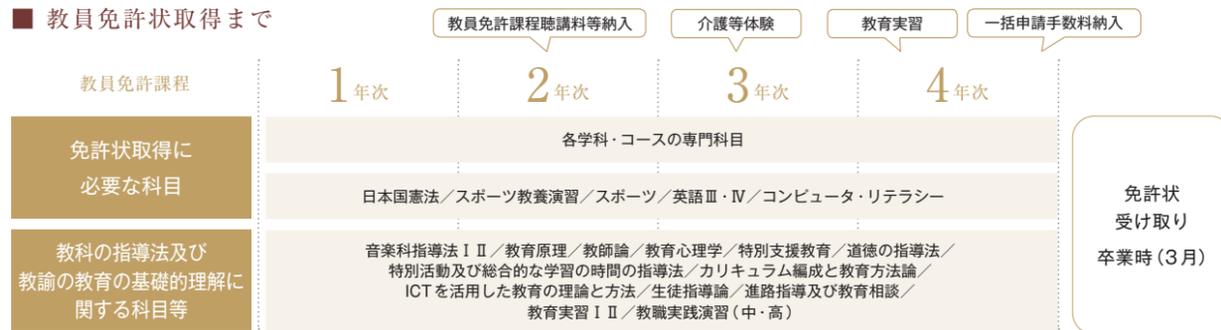
本学では教育方針として「音楽芸術の研鑽」と「人間形成」を掲げていますが、これを礎として多くの卒業生が教職に就いて活躍し、日本の音楽教育の発展に寄与してきました。現在も全学生の約7割が教員免許課程を履修しています。本学が開設する教員免許課程では、専門的な知識・技能とともに豊かな人間性を備えた教育者の育成を目指しています。

■ 取得できる免許状の種類と教科

中学校教諭一種免許状(音楽)・高等学校教諭一種免許状(音楽)

※上記免許状を取得した者が大学院に進学し課程を修了した場合、中学校教諭専修免許状(音楽)、高等学校教諭専修免許状(音楽)を取得することができます。

■ 教員免許状取得まで



小学校教員免許状取得について

教員免許課程を履修する学生を対象に、明星大学通信教育部との提携により、小学校教員免許状を取得する道が開かれています。本学の課程に加え、明星大学通信教育課程のスクーリングや通信教育を受講することで、小学校教諭二種免許状が取得可能です(編転入学者を除く)。

学芸員課程

学芸員とは博物館法に基づいた専門職のことであり、博物館や美術館等で資料の収集、保管、展示および調査研究等に携わることができます。本学が開設する学芸員課程では、文部科学省令の定める博物館に関する科目の単位を修得することで、学芸員資格を取得することができます。

■ 取得できる資格

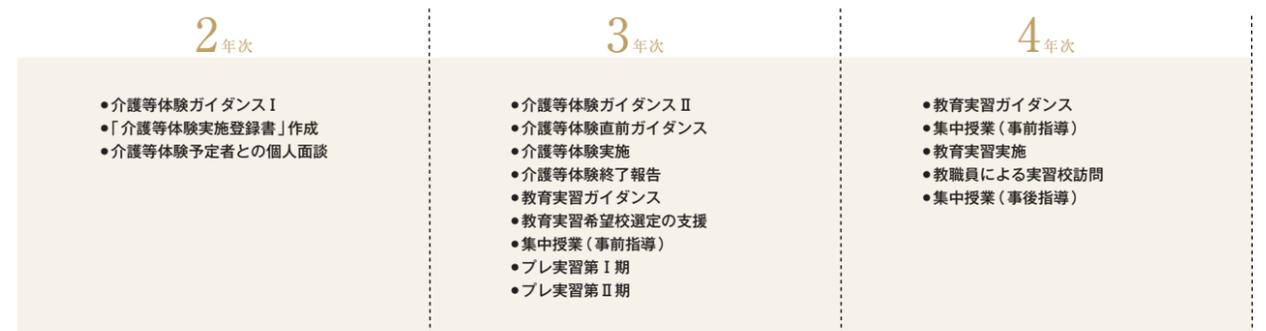
学芸員資格

■ 資格取得まで



学生サポート

教員免許課程サポート



上記の表で示すように、本学では介護等体験や教育実習に備え、それらを実施する約1年前からさまざまな内容のガイダンスを重ねています。そして、職員が早い段階から実施直前まで学生と個人面談を行い、一人ひとりのニーズに合った対応をしています。また、希望者は3年次に、近隣の小・中学校で「プレ実習」を経験することができます。事前に教育現場で、合唱や吹奏楽などの指導を通して児童・生徒とふれあうことにより、教育実習に備えることができます。さらに、教育実習直前には、「指導案作成の仕方(中学・高校、公立・私立などクラス分けをして指導)」、「合唱指導法」、学内講師・外部講師による「集中授業」等を行っています。また、教職員が事前に実習に向かう学生と面談を行った後、日本全国すべての実習校を訪問するなど、学生が実習校で十分成果が発揮できるよう、きめ細かいサポートを行っています。



学芸員課程サポート

本学が開設する学芸員課程の「博物館実習」は、通常の講義とともに、社会教育施設での実務実習を行います。実習は、日本最大の所蔵数を誇る本学の楽器ミュージアムで行われますが、希望する学生は学外の施設(美術館・博物館などの文化施設)で行うことも可能です。音楽を中心とした芸術文化をより深く理解するとともに、社会教育施設での実践力を身につけられるようにサポートを行っています。

カウンセリング制度・オフィスアワー

本学では専任教員及び専門資格を持つ心理カウンセラーが学生の相談に応じています。内容は学修、健康、就職など、広範多岐にわたっています。また、授業科目の内容や勉強方法などの質問や相談について、専門科目、外国語科目、教養科目を担当する専任教員が個々に対応するオフィスアワーもあり、学生は必要に応じて随時利用することができます。

学生寮

本音で仲間と語り合い、心の通じる仲間と出会える

職員・管理人が毎日の安全管理に気を配り、寮生活を支援しています。朝夕の食事は、江古田キャンパス内レストランと同一の「銀座スエヒロ」が、寮生の健康管理に配慮したバランスのよいメニューを提供しています。ともに音楽を学ぶ友人との生活は人間関係を深め、社会人として必要な協調性やコミュニケーション能力を大きく伸ばすことができます。



むらさき寮(女子学生寮:江古田)

江古田キャンパスから徒歩約3分。西武池袋線の江古田駅、東京メトロ有楽町線と副都心線の小竹向原駅、西武有楽町線の新桜台駅の3駅が利用可能で、閑静な住宅街に位置しています。地下に練習室を完備し、近隣には区立図書館やコンビニエンスストアがあります。
入寮定員: 164名
▶ 〒176-0004 東京都練馬区小竹町2丁目43-6

新学生寮(女子学生寮:江古田)

NEW

2023年末、新しい女子学生寮が誕生します。キャンパスから徒歩3分以内に位置し、個室でプライベートの時間が確保され、朝夕の食事付き、寮内の練習室が利用可能など、さまざまな充実した体制・設備のもと寮生活をサポートいたします。セキュリティも万全で、仲間との交流を大切にしながら、安心して充実した寮生活を送ることができます。詳細は4ページをご覧ください。

入学者選抜ガイド [音楽学部 第1年次]

～2023年度より武蔵野音楽大学への扉が大きく開かれます～

総合型選抜、学校推薦型選抜(指定校)、一般選抜A日程、B日程、C日程共通

- ・Web出願が可能です。
- ・対面方式とオンライン方式の選択が可能です。

総合型選抜 [第1回・第2回]

募集定員が50名から80名に増員。

ヴィルトゥオーゾコースだけでなく、全ての学科、コースを募集。

演奏学科内のコースの併願が可能。

・必ずヴィルトゥオーゾコースを第1志望とし、器楽コースまたは声楽コースは第2志望になります。

- 募集定員：80名
- 試験期間：【第1回】2022年10月22日(土)、10月23日(日)
【第2回】2022年12月3日(土)、12月4日(日)
- 出願資格：次のいずれかに該当する者
 - ①高等学校または中等教育学校を卒業した者(2023年3月卒業見込みの者を含む)
 - ②その他、学校教育法第90条に規定された者
 ※本学を専願とすることを条件としません。(併願も可能)

学校推薦型選抜(指定校)

ヴィルトゥオーゾコースを含む、全ての学科、コースを募集。

演奏学科内のコースの併願が可能。

・必ずヴィルトゥオーゾコースを第1志望とし、器楽コースまたは声楽コースは第2志望になります。

- 募集定員：120名
- 試験期間：2022年11月19日(土)、11月20日(日)
- 出願資格：本学が指定する高等学校の学校長が推薦し、2023年3月卒業見込みの者
※本学を専願とすることを条件とします。

・受験にあたり、出願者が修得している音楽に関する科目の単位数により、高等学校を「普通高校」と「音楽高校」に区分しています。区分方法の詳細は学校推薦型選抜(指定校)の要項を確認してください。

一般選抜 [A日程・B日程・C日程]

出願機会は3回。

大学入学共通テストの利用も可能。^{※1・※2}

- 募集定員：100名
- 試験期間：【A日程】2023年2月18日(土)～2月22日(水)
【B日程】2023年3月5日(日)～3月7日(火)
【C日程】2023年3月16日(木)～3月18日(土)
- 出願資格：次のいずれかに該当する者
 - ①高等学校または中等教育学校を卒業した者(2023年3月卒業見込みの者を含む)
 - ②その他、学校教育法第90条に規定された者
 ※本学を専願とすることを条件としません。(併願も可能)

※1「国語」については本学独自に実施する試験を受験するか、大学入学共通テストの成績を利用するかいずれかを選択できます。なお、大学入学共通テストの「国語」については古文、漢文を除いたものとします。
※2外国語のうち「英語」については本学独自に実施する試験を受験するか、大学入学共通テスト(リーディングとリスニング)の成績を利用するかいずれかを選択できます。また、大学入学共通テストを利用する場合、英語の他にドイツ語、フランス語での受験も可能です。

その他の入学試験(学部3年次編入・転入、大学院等)については本学ウェブサイトおよび入学試験要項をご確認ください。

■入学者選抜についてのお問い合わせ 入学者選抜事務局 TEL.03-3992-1119
各種要項の郵送をご希望の方は、本学ウェブサイト内の「資料請求フォーム」からお申し込みいただくか、広報室(TEL.03-3992-1125)へお電話にてご請求ください。

入学者選抜 試験科目

専攻実技課題等の詳細は入学者選抜要項でお確かめください。

コース名	専修	総合型選抜			学校推薦型選抜(指定校)					一般選抜					
		書類審査	面接	専攻実技	普通高校			音楽高校		楽典	国語※1	外国語※2	面接	専攻実技	副科ピアノ
					楽典	面接	専攻実技	面接	専攻実技						
ヴィルトゥオーゾコース	ピアノ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	パイプオルガン														
	管楽器														
	打楽器	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	弦楽器														
器楽コース	ピアノ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	パイプオルガン														
	管楽器	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	打楽器														
	弦楽器														
声楽コース				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

音楽総合学科

コース名および履修システム	総合型選抜							
	書類審査	面接	課題小論文	口頭試問	作品提出	プレゼンテーション	論文提出	実技
オープンメジャーシステム	○	○	○	○	—	—	—	—
フィックスメジャーシステム	作曲コース	○	○	—	—	○	○	—
	音楽学コース	○	○	○	○	—	—	○
	音楽教育コース	○	○	○	○	—	—	○
	アートマネジメントコース	○	○	○	○	—	—	—

コース名および履修システム	学校推薦型選抜(指定校)										
	普通高校						音楽高校				
	楽典	面接	課題小論文	口頭試問	作曲専攻課題	実技	面接	課題小論文	口頭試問	作曲専攻課題	実技
オープンメジャーシステム	○	○	○	○	—	—	○	○	○	—	—
フィックスメジャーシステム	作曲コース	○	○	—	○	○	○	○	—	○	○
	音楽学コース	○	○	○	○	—	—	○	○	○	—
	音楽教育コース	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○
	アートマネジメントコース	○	○	○	○	—	—	○	○	○	—

コース名および履修システム	一般選抜									
	楽典	国語※1	外国語※2	面接	課題小論文	口頭試問	作曲専攻課題	実技	副科ピアノ	
オープンメジャーシステム	○	○	○	○	○	○	—	○	—	
フィックスメジャーシステム	作曲コース	○	○	○	○	—	○	○	—	
	音楽学コース	○	○	○	○	○	—	○	—	
	音楽教育コース	○	○	○	○	○	—	○	○	
	アートマネジメントコース	○	○	○	○	○	○	—	○	

○印=受験科目

2022年度 講習会・イベント情報

オープンキャンパス

音楽大学ってどんなところ？見て、聞いて、体験してみよう！

2022 5/15(日)	2022 6/19(日)	2022 7/17(日)	2022 8/7(日)
2022 9/11(日)	2022 11/27(日)	2023 3/25(土)	

会場
江古田キャンパス

参加費
無料(要事前申込)

実施内容
大学紹介、体験レッスン、キャンパスツアー、学生によるコンサート、体験授業、進学相談 など

※実施内容は各回で異なります。詳細は本学ウェブサイトでご確認ください。

大学受験講習会

夏期 I期:2022年8月4日(木)～8月6日(土) II期:2022年8月25日(木)～8月27日(土)	冬期 2022年12月24日(土)～12月26日(月)
秋期 2022年9月17日(土)・9月18日(日)	春期 2023年3月27日(月)～3月29日(水)

開講科目 ・実技レッスン ・楽典
・課題小論文

※詳細は本学ウェブサイトまたは講習会要項でご確認ください。
(夏期講習会要項:5月発行/秋期講習会要項:7月発行/
冬期講習会要項:10月発行/春期講習会要項:1月発行)

入学者選抜直前対策

期日 : 2023年1月22日(日)	実施内容
対象 : 一般選抜受験生	・入学者選抜説明会
会場 : 江古田キャンパス	・受験対策講座(楽典、課題小論文、口頭試問)
参加費 : 無料(要事前申込)	・試験体験(試験会場での試演、模擬面接)
	・個別相談 など

※詳細は本学ウェブサイトでご確認ください。

■ 各イベントに関するお問い合わせ
入学センター TEL.03-3992-2500

参加のお申し込みは、本学ウェブサイト内の専用申し込みフォームをご利用ください。

むさおん

検索

武蔵野音楽学園公式 SNS

本学公式 SNS では演奏会やイベント情報などを発信しています。



LINE公式アカウント



YouTube



Twitter



Facebook



Instagram

学校説明会 & 体験レッスン

全国各地で本学の学校説明会 & 体験レッスンを開催します！

対象: 音楽に興味のある小中高生の皆さん
音楽大学への進学を検討されている方および保護者の皆様
楽器や声楽などの指導者の皆様、中学校・高等学校の先生方

内容: 大学紹介(ガイダンス形式)、体験レッスン、本学教員によるミニコンサート、進学相談

参加費: 無料

※実施内容は開催地によって異なります。
※学校説明会 & 体験レッスンの開催会場およびレッスン実施専攻等の詳細は、本学ウェブサイトでご確認ください。

北海道地方 北海道札幌市 6/26(日)	東北地方 宮城県仙台市 6/26(日)	福島県郡山市 6/12(日)		
関東地方 茨城県水戸市 5/29(日)	千葉県千葉市 6/12(日)	神奈川県横浜市 6/5(日)		
中部地方 新潟県新潟市 5/22(日)	静岡県静岡市 5/22(日)	長野県長野市 6/4(土)		愛知県名古屋市 7/3(日)
中国地方 岡山県岡山市 7/3(日)	四国地方 香川県観音寺市 7/10(日)	九州地方・沖縄地方 福岡県福岡市 5/28(土)		大分県大分市 7/9(土)

ステップアップ・プログラム

楽器や歌が「上手になりたい！」と考えているみなさん！
音楽を学ぼうで理想的な環境で、一流講師陣によるレッスンをぜひ受けてみてください。初心者の方から、音楽関係の高校や大学への進学を目指す方まで、音楽を心から愛する方のご参加をお待ちしています。
※参加費および実施内容の詳細は本学ウェブサイトでご確認ください。

ピアノ・声楽
2023年
10月9日(日)/12月11日(日)/3月12日(日)

管楽器・打楽器・弦楽器
2023年
9月25日(日)/11月13日(日)/2月5日(日)

江古田キャンパスアクセス

西武池袋線【江古田駅】北口から徒歩4分
西武有楽町線【新桜台駅】4番出口から徒歩4分
東京メトロ有楽町線/副都心線【小竹向原駅】2番出口から徒歩9分
〒176-8521 東京都練馬区羽沢1丁目13-1 TEL.03-3992-1121(代表)

武蔵野音楽大学ウェブサイト

<https://www.musashino-music.ac.jp/>

